

# 年 報

## (平成 28 年度実績)

静岡県工業技術研究所

平成 29 年 12 月

# 目 次

1	概 況	
(1)	工業技術研究所の沿革	1
(2)	工業技術研究所全体の事業概要	2
(3)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの施設の概要	4
(4)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの組織図	5
(5)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの職員	8
(6)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの決算	12
(7)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの主要購入機器設備	16
2	事業の実績	
(1)	試験研究、調査及び指導事務	17
ア	研究開発	17
(ア)	研究課題	17
(イ)	外部研究員招へい事業	24
(ウ)	特許等の登録及び出願	27
イ	技術相談等	28
(ア)	技術相談	28
(イ)	依頼試験	29
(ウ)	機器使用等	34
(エ)	研究会の育成	35
(オ)	研修生の受入れ	36
ウ	技術情報提供	38
(ア)	研究報告関係	38
(イ)	研究発表会関係	38
(ウ)	研究所情報等の提供	42
(エ)	研究所の事業広報等	42
(オ)	講習会等	43
(カ)	講師活動	49
(キ)	委員派遣	54
(ク)	産業技術連携推進会議等への派遣	64
(ケ)	学会等への発表、外部発行誌等への投稿及び展示会への出展	69
(2)	平成 28 年度研究成果一覧	78
ア	工業技術研究所	78
イ	沼津工業技術支援センター	85
ウ	富士工業技術支援センター	88
エ	浜松工業技術支援センター	89

# 1 概 況

## (1) 工業技術研究所の沿革

- 明治39年 3月 「静岡県工業試験場紙業部、漆器部、庶務部」を静岡市追手町に、「染織部」を浜名郡天神町村馬込（現浜松市）に設置し、同年11月に開場
- 大正 2年 12月 「静岡県工業試験場」を静岡市水落町に移転
- 大正 4年 9月 「染織部」を「静岡県工業試験場浜松分場」に改称
- 大正 8年 「浜松分場」を浜松市北寺島町に移転
- 大正 8年 12月 「静岡県工業試験場」を安倍郡豊田村南安東（後瓦場町、現静岡市葵区太田町）に移転
- 大正 9年 2月 「静岡県工業試験場」を「静岡県静岡工業試験場」に、「浜松分場」を「静岡県浜松工業試験場」に改称
- 昭和12年 11月 「製紙部」を富士郡今泉村（現富士市今泉）に移転、「静岡県製紙工業試験場」を開設
- 昭和27年 4月 「静岡県浜松工業試験場」を「静岡県浜松繊維工業試験場」に、「静岡県製紙工業試験場」を「静岡県紙業指導所」に改称
- 昭和28年 1月 「静岡県静岡工業試験場」を静岡市安倍川町（現葵区駒形通5丁目）に移転
- 昭和32年 4月 「静岡県紙業指導所」を「静岡県製紙工業試験場」に改称
- 昭和36年 4月 「静岡県静岡工業試験場」を「静岡県工業試験場」に改称
- 昭和36年 6月 「静岡県工業試験場浜松分場」を浜松市小池町に設置
- 昭和38年 1月 「静岡県工業試験場浜松分場」を「静岡県機械技術指導所」と改称
- 昭和38年 12月 「静岡県製紙工業試験場」を吉原市伝法（現富士市伝法）に移転
- 昭和42年 6月 「静岡県浜松繊維工業試験場福田技術指導所」を磐田郡福田町に開所
- 昭和57年 11月 「静岡県工業試験場」を現在地（静岡市葵区牧ヶ谷）に移転
- 昭和59年 4月 「静岡県工業試験場」を「静岡県工業技術センター」に改称
- 平成 2年 4月 「静岡県工業技術センター」を「静岡県静岡工業技術センター」に改称  
「沼津工業技術センター」を現在地（沼津市大岡）に開設
- 平成 3年 4月 「静岡県製紙工業試験場」を現在地（富士市大淵）に移転し、機械・電子部門を加え、「静岡県富士工業技術センター」に改称  
「静岡県浜松繊維工業試験場」と「静岡県機械技術指導所」を統合し、光・電子部門を加え、「静岡県浜松工業技術センター」として現在地（浜松市北区新都田1丁目）に移転、開設
- 平成19年 4月 「沼津・富士・静岡・浜松工業技術センター」を統合し、「静岡県工業技術研究所」とし、「沼津・富士・浜松工業技術センター」を「工業技術支援センター」と名称変更

## (2) 工業技術研究所全体の事業概要

地域産業に最も近い技術支援機関として、研究開発、依頼試験・設備使用、技術相談・人材育成、技術情報の提供、産学官連携の促進や周辺地域の公設試験研究機関との連携強化等を通じて、ものづくりを行う県内中小企業の技術開発や課題解決を支援している。

特に、県の産業振興施策である静岡新産業集積クラスター推進事業を始めとする地域の特化技術(バイオテクノロジー、製紙、食品、環境エネルギー、生活製品、光)、地域産業の基礎となる共通基盤技術(材料、機械、電子)及び中小企業全体の支援に横断的に関わるものづくり支援の各分野において、地域産業の振興、新たな産業の創出などの基礎となる技術力の向上を支援している。

また、県内産業界を一体的に技術支援できる組織体制とするため、平成19年度には沼津・富士・静岡・浜松工業技術センターを統合し、工業技術研究所(静岡市)とし、その下に沼津・富士・浜松工業技術支援センターを配置した。

平成24年9月には工業技術研究所全体で、文部科学省から科研費応募資格を有する研究機関としての指定を受け、企業支援のための技術力向上に努めている。

さらに企業支援を強化するため、これまでの窓口相談を拡充し、研究所及び各工業技術支援センターに平成26年3月から海外展開支援を含めた「ものづくり産業支援窓口」を開設したほか、商工会議所・商工会等との連携により、研究員が直接企業に出向く出張相談の強化や遠隔地での相談に対応する臨時窓口を設置するようにした。

これらにより、企業が取り組む研究開発、製品設計・生産、品質管理における技術課題の解決のための支援が強化された。

### 主要事業

#### ア 研究開発

経常研究、共同研究、受託研究、新成長戦略研究を行い、地域産業の技術基盤の強化や先端技術の開発による産業支援を行う。

#### イ 技術相談・人材育成

中小企業の技術相談や各種研修会・講習会を開催し、地域産業の技術力向上に努める。

#### ウ 依頼試験・設備使用

地域企業の新製品開発や性能評価のため、依頼試験や試験機器・施設等を開放し、技術支援を行う。

#### エ 技術情報の提供

インターネットや研究所・センターニュース等の刊行物を利用し、地域の中小企業を中心に、製造技術や製品開発に必要な技術情報を提供する。

#### オ 産学官連携の促進

地域企業、大学、支援機関との連携を強化し、技術情報の共有化や研究開発、産業振興を図る。さらに、静岡県工業技術研究所産学官連携推進コーディネータを配置し、「産学官技術交流促進事業」等を実施する。

他県の公設試験研究機関との連携を密にするため、関東経済産業局管内の首都圏公設試験研究機関連携体(首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ(TKF))や、中部経済産業局管内の中部イノベネットに参画し、情報交換や広域連携による域内企業の支援強化を進めている。

また、関東甲信越地域の公設試が連携して中小企業の海外展開を支援する組織（広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP））に参加し、域内企業の海外進出を技術面から支援している。

カ 静岡新産業集積クラスターの形成事業の推進

東部のファルマバレー、中部のフーズ・サイエンスヒルズ、西部のフォトンバレーの県内3クラスターの着実な推進とともに、各クラスター間の連携により、新たな技術・製品の開発を促進し、相乗効果を図る。

### (3) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの施設の概要

#### ア 工業技術研究所(静岡市)

(ア)敷地面積	23,157 m <sup>2</sup>	
(イ)建築面積	7,659 m <sup>2</sup>	
(ウ)延床面積	13,091 m <sup>2</sup>	
管理棟	鉄筋コンクリート4階建	2,250 m <sup>2</sup> (管理部門)
研究棟	鉄筋コンクリート4階建	4,130 m <sup>2</sup> (研究部門)
研修棟	鉄筋コンクリート平屋建	270 m <sup>2</sup> (講習・研修施設)
実験棟	鉄骨平屋建	2,719 m <sup>2</sup> (実験施設)
開放棟	鉄筋コンクリート3階建	1,680 m <sup>2</sup> (開放試験・共同研究施設等)
資料館	鉄筋コンクリート2階建	460 m <sup>2</sup>
附属棟		1,582 m <sup>2</sup> (設備棟・薬品庫等)

#### イ 沼津工業技術支援センター(沼津市)

(ア)敷地面積	19,958 m <sup>2</sup>	
(イ)建築面積	3,892 m <sup>2</sup>	
(ウ)延床面積	6,219 m <sup>2</sup>	
管理・研究・開放棟	鉄筋コンクリート3階建	4,384 m <sup>2</sup> (管理・研究部門、開放試験)
実験棟	鉄筋コンクリート平屋建	648 m <sup>2</sup> (実験施設)
附属棟		305 m <sup>2</sup> (廃水処理施設等)
インキュベートセンター	鉄骨平屋建	882 m <sup>2</sup>

#### ウ 富士工業技術支援センター(富士市)

(ア)敷地面積	20,075 m <sup>2</sup>	
(イ)建築面積	4,433 m <sup>2</sup>	
(ウ)延床面積	8,801 m <sup>2</sup>	
管理・研究・開放棟	鉄筋コンクリート3階建	5,346 m <sup>2</sup> (管理・研究部門、開放試験)
実験棟	鉄筋コンクリート3階建	2,414 m <sup>2</sup> (実験施設)
附属施設		165 m <sup>2</sup> (車庫・駐輪場等)
インキュベートセンター	鉄骨平屋建	876 m <sup>2</sup>

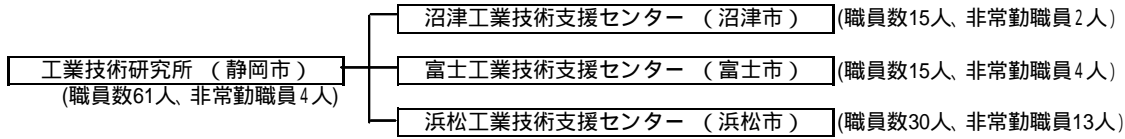
#### エ 浜松工業技術支援センター(浜松市)

(ア)敷地面積	28,238 m <sup>2</sup>	
(イ)建築面積	5,249 m <sup>2</sup>	
(ウ)延床面積	10,611 m <sup>2</sup>	
管理研究棟	鉄筋コンクリート4階建	5,023 m <sup>2</sup> (管理・研究部門)
開放棟	鉄筋コンクリート2階建	1,276 m <sup>2</sup> (開放試験・共同研究・講習研修施設)
実験棟	鉄筋コンクリート2階建	3,309 m <sup>2</sup> (研究部門)
附属棟		128 m <sup>2</sup> (排水処理施設・薬品庫等)
○インキュベートセンター	鉄骨平屋建	875 m <sup>2</sup>

(5) 組織図

平成28年4月1日現在の工業技術研究所の組織及び業務分担は、次のとおりである。

職員総数は事務職員12人、技術職員105人、再任用職員4人（事務職1人、技術職3人）、非常勤職員23人の計144人である。



ア 工業技術研究所（静岡市）

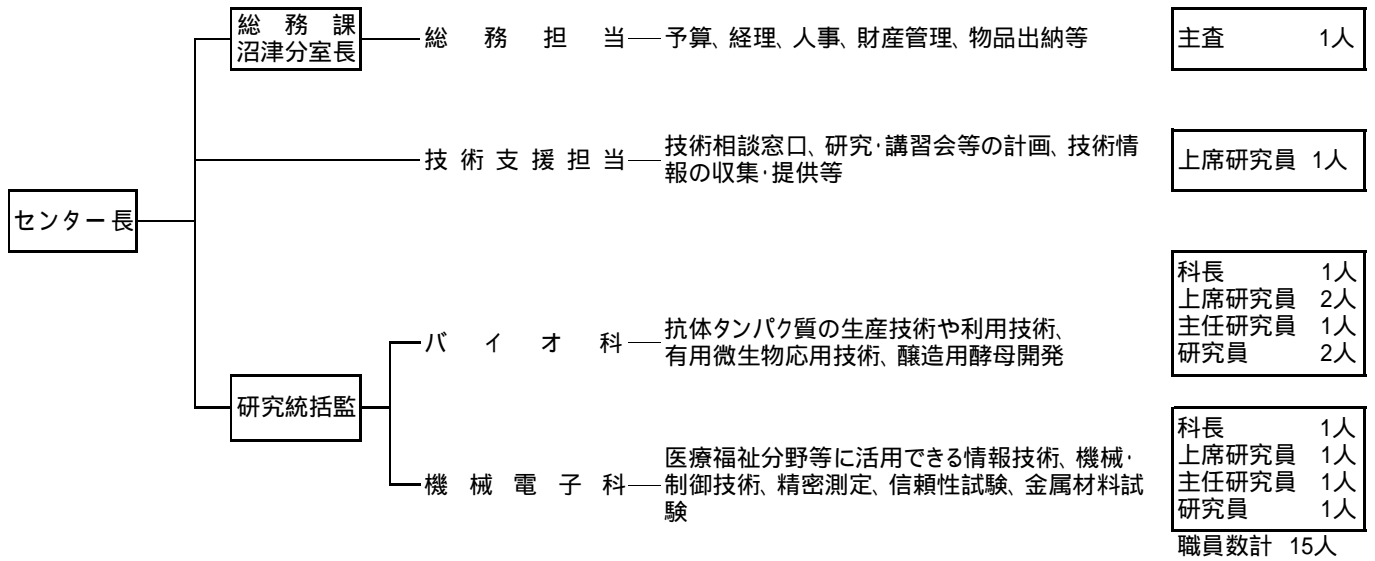
職員数は事務職員5人、技術職員53人、再任用職員3人、非常勤職員4人の計65人である。



職員数計	
職員	61人
非常勤職員	4人

## イ 沼津工業技術支援センター(沼津市)

職員数は事務職員 2 人、技術職員13人及び非常勤職員 2 人の計17人である。

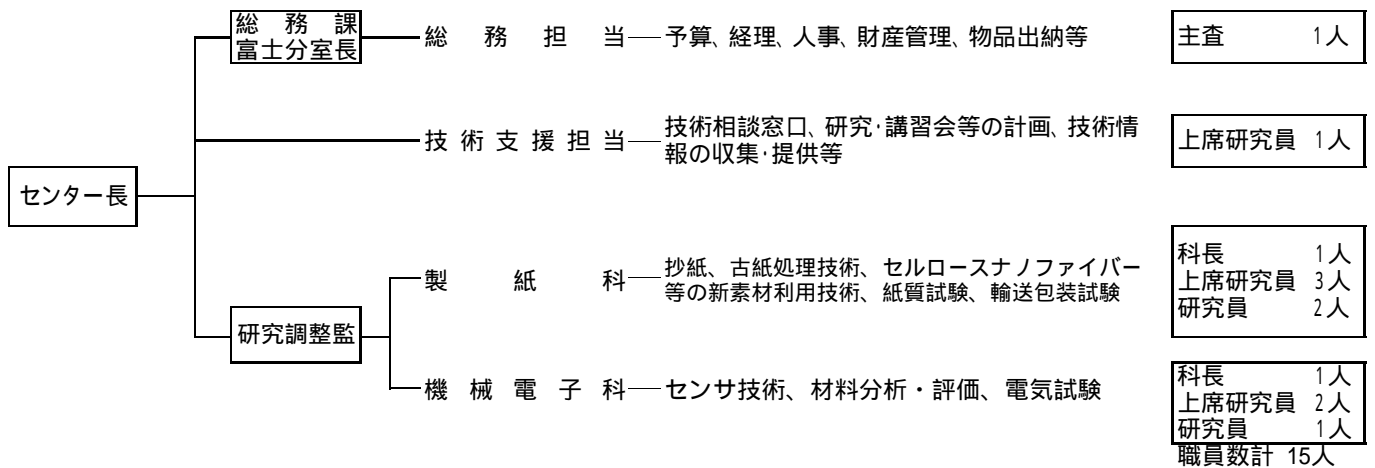


(その他非常勤職員等)

職名	人数
非常勤職員	2

## ウ 富士工業技術支援センター(富士市)

職員数は事務職員 2 人、技術職員13人及び非常勤職員 4 人の計19人である。



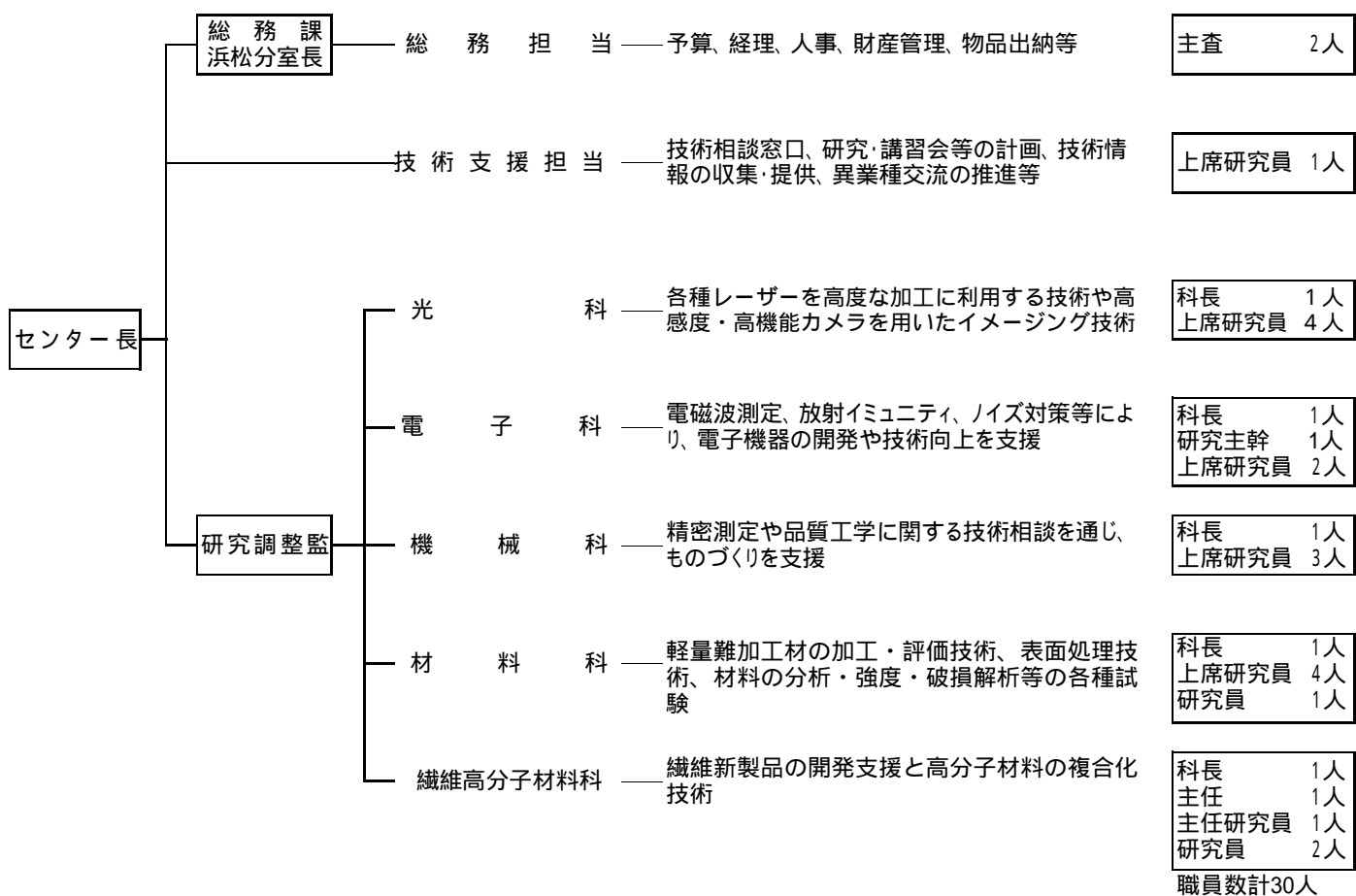
(その他非常勤職員等)

職名	人数
非常勤職員	4



## エ 浜松工業技術支援センター（浜松市）

職員数は事務職員 3 人、技術職員 26 人、再任用職員 1 人、非常勤職員 13 人の計 43 人である。



（その他非常勤職員等）

職 名	人数
非常勤職員	13

(5) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの職員

ア 工業技術研究所

部課科スタッフ	事務職員	技術職員	非常勤職員 臨時職員	部課科スタッフ	事務職員	技術職員	非常勤職員 臨時職員
所長		1		機械		6	
次長兼総務課長	1			電子		5	
部長		1		食品		7	1
研究統括監・研究調整監		2		環境		5	
総務課	4	1		エレクトロニクスデザイン		4	
企画調整部	1	4	2	工芸		9	1
金属材料		5		計	6	55	4
化学材料		5					

職員名簿

組織	職名	氏名	組織	職名	氏名
所長		北川 剛弘			
総務課	次長兼課長	岩崎 治	電子科	主任研究員	竹居 翼
	班長(事)	勝又 幸彦	研究員	岩崎 清斗	
	主査(事)	小杉 郁奈	研究統括監		佐野 禎彦
	主任(事)	森田 たか子	食品科	科長	油上 保
	主任(技)	一瀬 将平		上席研究員	渡瀬 隆也
	主事	高泉 優香		上席研究員	上野 千恵
部長	田中 孝彦	上席研究員		浅沼 俊倫	
班長	鬼久保 郁雄	主任研究員		松野 正幸	
上席研究員	矢嶋 雅	主任研究員		三宅 健司	
企画調整部	上席研究員	及川 貴康	主任研究員	袴田 雅俊	
	主任(事)	川北 周吾	非常勤職員	1名	
	主任研究員	志田 英士	環境科	科長	杉本 芳邦
	非常勤職員	2名		上席研究員	太田良 和弘
	研究調整監	杉山 直人		上席研究員	岡本 哲志
	主任研究員	室伏 敬太		主任研究員	中島 大介
金属材料科	科長	萱沼 広行	ユニバーサル デザイン科	科長	多々良 哲也
	上席研究員	増井 裕久		上席研究員	小松 剛
	主任研究員	綿野 哲寛		上席研究員	易 強
	主任研究員	鈴木 洋光		上席研究員	村松 重緒
化学材料科	研究員	松下 五樹	工芸科	科長	櫻川 智史
	科長	渥美 博安		上席研究員	赤堀 篤
	上席研究員	田村 克浩		上席研究員	山下 里恵
	上席研究員	菅野 尚子		上席研究員	藤浪 健二郎
	主任(技)	杉山 治		上席研究員	渡邊 雅之
主任研究員	田中 翔悟	主任(技)		内山 辰彦	
機械科	科長	鈴木 敬明		主任研究員	菊池 圭祐
	上席研究員	真野 毅		研究員	前田 研司
	上席研究員	船井 孝		研究員	石橋 佳奈
	主任研究員	志智 亘		非常勤職員	1名
	主任研究員	豊田 敏裕			
電子科	主任研究員	柳原 亘	(事)は事務職員、(技)及びその他は技術職員(非常勤職員を除く))		
	科長	長谷川 和宏			
	上席研究員	木野 直樹			
	上席研究員	望月 紀寿			

く)

イ 沼津工業技術支援センター

課科スタッフ	事務職員	技術職員	非常勤職員
センター長		1	
研究統括監		1	
分室長	1		
総務担当	1		1
技術支援担当		1	
バイオ		6	
機械電子		4	1
計	2	13	2

職員名簿

組 織	職名	氏 名	組 織	職名	氏 名
センター長		加藤 公彦	バイオ科	研究員	高木 啓詞
研究統括監		八木 淳一		研究員	鈴木 雅博
総務課分室長(事)		秋定 一知	機械電子科	科 長	飯野 修
総務担当	主 査(事)	市川 和美		上席研究員	本多 正計
	非常勤職員	1名		主任研究員	橘川 義明
技術支援担当	上席研究員	望月 建治		研究員	是永 宗佑
バイオ科	科 長	太田 俊也	(事)は事務職員、その他は技術職員(非常勤職員を除く)	非常勤職員	1名
	上席研究員	岩原 健二			
	上席研究員	飯塚 千佳世			
	主任研究員	勝山 聡			

ウ 富士工業技術支援センター

課科スタッフ	事務職員	技術職員	非常勤職員
センター長		1	
研究調整監		1	
分室長	1		
総務担当	1		1
技術支援担当		1	
製紙		6	3
機械電子		4	
計	2	13	4

職員名簿

組 織	職名	氏 名	組 織	職名	氏 名
センター長		佐藤 廣美	製紙科	上席研究員	齊藤 将人
研究調整監		三浦 清		研究員	白井 圭
総務課分室長(事)		袴田 祐司		研究員	山口 智久
総務担当	主 査(事)	森上 明彦		非常勤職員	3名
	非常勤職員	1名	機械電子科	科 長	長谷川 茂
技術支援担当	上席研究員	岡田 慶雄		上席研究員	高木 誠
製紙科	科 長	木野 浩成		上席研究員	中山 洋
	上席研究員	深沢 博之		研究員	井出 達樹
	上席研究員	齊藤 和明	(事)は事務職員、その他は技術職員(非常勤・臨時職員を除く)		

エ 浜松工業技術支援センター

課科	事務職員	技術職員	非常勤職員・臨時職員
センター長		1	
研究調整監		1	
分室長	1		
総務担当	2		1
技術支援担当		1	2
光		5	2
電子		4	1
機械		4	
材料		6	4
繊維高分子材料		5	3
合計	3	27	13

職員名簿

組 織	職名	氏 名	組 織	職名	氏 名
センター長		神谷 真好	機械科	科 長	長澤 正
研究調整監		大川 勝正		上席研究員	針幸 達也
総務課分室長(事)		市川 俊明		上席研究員	岩澤 秀
総務担当	主 査(事)	岩田 安弘		上席研究員	大澤 洋文
	主 査(事)	鈴木 裕子	材料科	科 長	伊藤 芳典
	非常勤職員	1名		上席研究員	吉岡 正行
技術支援担当	上席研究員	山下 晶平		上席研究員	長津 義之
	非常勤職員	2名		上席研究員	田光 伸也
光科	科 長	植田 浩安		上席研究員	植松 俊明
	上席研究員	鷺坂 芳弘		研究員	田中 宏樹
	上席研究員	山下 清光	非常勤職員	4名	
	上席研究員	上野 貴康	繊維高分子材料科	科 長	鈴木 一之
	上席研究員	中野 雅晴		主任(技)	石原 彰浩
	非常勤職員	2名		主任研究員	鈴木 悠介
電子科	科 長	松田 稔		研究員	森田 達弥
	研究主幹	杉森 正康		研究員	山崎 利樹
	上席研究員	増田 康利	非常勤職員	3名	
	上席研究員	山田 浩文	(事)は事務職員、その他は技術職員(非常勤職員を除く)		
	非常勤職員	1名			

(6) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの決算

ア 工業技術研究所

(ア) 歳入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 額	収入未済額	備 考
使用料・手数料	29,540	29,540 (証紙32,760,950)	0	
財 産 収 入	352,004	352,004	0	
諸 収 入	8,124,472	8,124,472	0	
計	8,506,016	8,506,016 (証紙32,760,950)	0	

(イ) 歳出(人件費を除く)

(単位：円)

科 目	令 達 額	支 出 額	残 額	備 考
経営管理費	13,105,454	13,105,454	0	
経済産業費	247,617,576	247,617,576	0	
計	260,723,030	260,723,030	0	

歳出内訳

経営管理費	経営管理費	13,105,454 円
経済産業費	経済産業費	108,030 円
	産業革新費	228,970,010 円
	就業支援費	1,468,551 円
	商工業費	17,067,315 円
	農業費	3,670 円

(ウ) 国庫補助等

(単位：円)

補助金等の名称	県 事 業 名	事業費
公設工業試験研究所の設備拡充補助事業 ( (公財) J K A )	機械工業育成機器整備事業費 ( 機器名：音響透過損失・残響室 法吸音率測定システム )	24,300,000
公設工業試験研究所の設備拡充補助事業 ( (公財) J K A )	機械工業育成機器整備事業費 ( 機器名：熱分析装置 )	12,690,000
地方創生加速化交付金 ( 内閣府 )	ふじのくにCNFプロジェクト推進事 業費	7,555,000

イ 沼津工業技術支援センター

(ア) 歳入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 額	収入未済額	備 考
使用料・手数料	3,272,102	3,055,502 (証紙 15,625,390)	216,600	
財 産 収 入	13,662	13,662	0	
諸 収 入	2,217,936	2,166,736	51,200	
計	5,503,700	5,235,900 (証紙 15,625,390)	267,800	

(イ) 歳出(人件費を除く)

(単位：円)

科 目	令 達 額	支 出 額	残 額	備 考
経営管理費	6,099,673	6,099,673	0	
経済産業費	93,650,063	93,650,063	0	
計	99,749,736	99,749,736	0	

歳出内訳

経営管理費	経営管理費	6,099,673 円
経済産業費	経済産業費	25,130 円
	産業革新費	92,270,596 円
	商工業費	1,354,337 円

(ウ) 国庫補助等

(単位：円)

補助金等の名称	県 事 業 名	事業費
地方創生加速化交付金 (内閣府)	ふじのくにCNFプロジェクト推進事業費	322,000

ウ 富士工業技術支援センター

(ア) 歳入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 額	収入未済額	備 考
使用料・手数料	3,371,000	3,371,000 (証紙 11,007,290)	0	
財 産 収 入	88,992	88,992	0	
諸 収 入	1,913,129	1,913,129	0	
計	5,373,121	5,373,121 (証紙 11,007,290)	0	

(イ) 歳出(人件費を除く)

(単位：円)

科 目	令 達 額	支 出 額	残 額	備 考
経営管理費	2,654,640	2,654,640	0	
くらし・環境費	200,000	200,000	0	
経済産業費	117,649,431	117,649,431	0	
計	120,504,071	120,504,071	0	

歳出内訳

経営管理費	経営管理費	2,654,640 円
くらし・環境費	環境費	200,000 円
経済産業費	経済産業費	296,780 円
	産業革新費	109,510,326 円
	商工業費	7,842,325 円

(ウ) 国庫補助等

(単位：円)

補助金等の名称	県 事 業 名	事業費
地方創生加速化交付金 (内閣府)	ふじのくにCNFプロジェクト推進事業費	9,500,000



エ 浜松工業技術支援センター

(ア) 歳入

(単位：円)

科目	調定額	収入額	収入未済額	備考
使用料・手数料	3,227,120	3,227,120 (証紙 50,542,260)	0	
財産収入	426,276	426,276	0	
諸収入	7,154,809	7,154,809	0	
計	10,808,205	10,808,205 (証紙 50,542,260)	0	

(イ) 歳出(人件費を除く)

(単位：円)

科目	令達額	支出額	残額	備考
経営管理費	6,441,166	6,441,166	0	
経済産業費	178,015,703	178,015,703	0	
計	184,456,869	184,456,869	0	

歳出内訳

経営管理費	経営管理費	6,441,166 円
経済産業費	経済産業費	140,000 円
	産業革新費	159,164,075 円
	商工業費	18,710,188 円
	農業費	1,440 円

(ウ) 国庫補助等

(単位：円)

補助金等の名称	県事業名	事業費
地方創生加速化交付金 (内閣府)	ふじのくにCNFプロジェクト推進事業費	640,000

(7) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの主要購入機器設備(金額1,000千円以上)

品名	所属	購入金額 (千円)	事業名	区分
音響透過損失・残響室法吸音率測定システム	本所	24,300	機械工業育成機器整備事業費 (公益財団法人JKA)	団体補助
熱分析装置	本所	12,690		
遊星ボールミル	富士	4,277	ふじのくにCNFプロジェクト推進事業費 (内閣府 地方創生加速化交付金)	国補
非接触形状測定システム	本所	2,646		
回転式粘度計	本所	1,944		
自動滴定装置	富士	1,296		
原子間力顕微鏡	富士	13,684	技術研究所施設備品等整備事業費	県単独
複合環境振動試験機用デジタル振動制御装置	沼津	4,374		
横型引張試験器	富士	3,618		
金属解析用倒立顕微鏡	本所	3,078		
インターナルポンドテスター	富士	2,592		
王研式平滑度・透気度試験機	富士	2,052		
ケルダール蒸留装置	本所	1,118		
マイクロピッカーズ硬さ試験機	本所	1,055		
ヘッドスペースGC-MS	沼津	6,912	新成長戦略研究推進事業費	
液体クロマトグラフデータ解析ユニット	本所	1,598		

2 事業の実績

(1) 試験研究、調査及び指導事務

ア 研究開発

(ア) 研究課題

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの研究課題数

	新成長 戦略 研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		個人向け 資金によ る研究	計
				競争的 資金 による 研究	競争的 資金 以外の 研究		
工業技術研究所	8 (3) 1 2 3	3	8	4	9	0 (3)	32 (6)
沼津工業技術 支援センター	3	1	2	1	3	0	10
富士工業技術 支援センター	1	1	1	0	0	0	3
浜松工業技術 支援センター	2	2	4	1	8	0	17
合計	14 (2)	7	15	6	20	0 (3) 4	62 (6)

( )内は内数

- 1 沼津センターが統括して、静岡においても実施
- 2 富士センターが統括して、静岡においても実施
- 3 農林技術研究所が統括して、静岡においても実施
- 4 県単独研究の3課題について、個人向け資金(科研費)を活用

(a) 工業技術研究所の研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略 研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		個人向け 資金によ る研究	計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究		
金属材料科	0	0	1	1	0	0	2
化学材料科	0	0	1	0	0	0	1
機械科	2	0	1	0	0	0	3
電子科	0	0	2	0	0	0	2
食品科	2 (2) 1 2	0	2	1	4	0	9 (2)
環境科	1	0	0	2	2	0	5
ユニバーサルデザイン科	0	1	1	0	0	0 (1)	2 (1)
工芸科	3 (1) 3	2	0	0	3	0 (2)	8 (3)
合計	8 (3)	3	8	4	9	0 (3) 4	32 (6)

( )内は内数

- 1 沼津センターが統括して、静岡においても実施
- 2 農林技術研究所が統括して、静岡においても実施
- 3 富士センターが統括して、静岡においても実施
- 4 県単独研究の3課題について、個人向け資金(科研費)を活用

(b) 沼津工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略 研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		個人向け 資金によ る研究	計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究		
バイオ科	2	0	1	0	2	0	5
機械電子科	1	1	1	1	1	0	5
合計	3	1	2	1	3	0	10

(c) 富士工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略 研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		個人向け 資金によ る研究	計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究		
製紙科	1	1	0	0	0	0	2
機械電子科	0	0	1	0	0	0	1
合計	1	1	1	0	0	0	3

(d) 浜松工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略 研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		個人向け 資金によ る研究	計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究		
光科	1	1	0	0	0	0	2
電子科	0	0	1	0	0	0	1
機械科	0	0	0	1	0	0	1
材料科	1	1	2	0	6	0	10
繊維高分子材料科	0	0	1	0	2	0	3
合計	2	2	4	1	8	0	17

b 平成28年度研究課題名一覧  
 ( a ) 工業技術研究所研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
新成長戦略研究			
継続 H26～	分散型エネルギー社会に貢献する小型メタン発酵プラントの開発	環境科	
継続 H26～	“森林の都”を実現する県産材の需要と供給の拡大のための技術開発	工芸科	
継続 H27～	次世代照明用部品の総合開発・評価に関する研究	機械科	
継続 H27～	食の都しずおかの微生物を用いた新しい発酵食品ビジネスの創出	食品科	
新規	健康長寿静岡の新たな機能性食品産業の創出	食品科	
新規	セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化	工芸科	
新規	CNFを応用した新規アロマ化粧品基材の開発	工芸科	チャレンジ研究
新規	ドイツにおける研究開発と成果普及の体制調査、並びに県内企業とのマッチングに向けたニーズ調査	機械科	緊急対応研究枠
県単独研究			
継続 H26～	筋負担の簡易測定法の開発 - 製品開発現場での利用に向けて	ユニバーサルデザイン科	科学研究費助成事業 挑戦的萌芽研究(学振)
継続 H26～	冷涼感を有する県産の香り探索と新規アロマ製品の開発	工芸科	科学研究費助成事業 挑戦的萌芽研究(学振)
継続 H26～	バイオマス由来活性炭を用いた電気二重層キャパシタの量産化	工芸科	科学研究費助成事業 若手研究(B)(学振)
一般共同研究			
継続 H26～	レーザー皮膜によるダイカスト金型の長寿命化技術の開発	金属材料科	
継続 H27～	赤外線分析技術を応用した樹脂製品の検査工程の高度化	化学材料科	
継続 H27～	無線・自立型センサモジュールの開発 風力発電機監視システムへの応用	電子科	
新規	マットレス設計における身体部分質量推定手法の確立	機械科	
新規	オーディオスピーカの研究開発	電子科	
継続 H20～	(地域結集事業 フェーズ ) 静岡発 世界を結ぶ新世代茶飲料と素材の開発	食品科	

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
一般共同研究			
新規	静岡型健康長寿モデル構築のためのレシピ及び高機能型食品開発	食品科	地方創生加速化交付金(内閣府)
新規	食品加工バンドソー用の安全強化グローブの開発	ユニバーサルデザイン科	
受託研究(競争的資金による研究)			
継続 H27～	低コスト小規模バイオマス発電システム用ガス化炉の開発	環境科	中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業(経産省)
新規	無電解ニッケルめっき代替を目指した新規フォームめっき技術の開発	金属材料科	産学官連携研究開発(財団)
新規	静岡県産釜揚げシラスのためのパイロットスケール殺菌装置の開発	食品科	産学官連携研究開発(財団)
新規	農林業のニーズに応える小型・低コストバイオマスガス化発電システムの開発	環境科	戦略的基盤技術高度化支援事業(経産省)
受託研究(競争的資金以外の研究)			
新規	柑橘類ヨーグルトソース開発のための成分分析	食品科	
新規	県産茶の実油の原料、製造条件の違いによる品質の調査	食品科	
新規	高級茶飲料の高濃度化に関する研究	食品科	
新規	新規な食感を持つ乾燥こんにゃく素材の開発	食品科	
新規	アオコ抑制剤の性能向上に関する研究	環境科	
新規	アンモニア化・硝化細菌担体の保管技術の構築	環境科	
新規	竹粉の乳酸発酵技術の開発及び発酵食品への応用	工芸科	
新規	過熱水蒸気炭化炉により作製したバイオマス由来活性炭の性能評価	工芸科	
新規	バラの香り製品の品質向上と安定化	工芸科	

注) 学振：(独)日本学術振興会、経産省：経済産業省、財団：(公財)静岡県産業振興財団

(b) 沼津工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 H27～	食の都しずおかの微生物を用いた新しい発酵食品 ビジネスの創出	バイオ科	
新規	乳酸菌の香気成分に関する酵素遺伝子の探索	バイオ科	チャレンジ研究
新規	整形外科用インプラントの切削加工技術の開発	機械電子科	チャレンジ研究
県単独研究			
新規	無騒音・無振動アクチュエータの動作性能向上に 関する研究	機械電子科	
一般共同研究			
新規	微生物利用土壌改良材の評価に応用できる微生物 群集解析方法の構築	バイオ科	
新規	金属工作機械の伸縮式カバーに用いるワイパー選 択条件の標準化	機械電子科	
受託研究（競争的資金による研究）			
新規	骨端用プレートの高品質・低コスト成形加工技術 の開発	機械電子科	戦略的基盤技 術高度化支援 事業（経産省）
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	ひずみゲージを用いた線膨張係数の測定手法の検 討	機械電子科	
新規	酸性食品フルーツの殺菌理論構築 混入微生物の把握	バイオ科	
新規	硝化細菌検査システムの構築 定量手法の開発	バイオ科	

注) 財団：(公財)静岡県産業振興財団

## (c) 富士工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
新規	セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化	製紙科	
県単独研究			
継続 H27～	トイレトペーパーに新聞古紙を利用するための技術開発	製紙科	
一般共同研究			
新規	見守りシステムの応用展開に関する研究	機械電子科	

## (d) 浜松工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 H26～	レーザーによる健康医療機器用プラスチックの加工技術の確立	光科	
新規	ウルトラハイテン自動車部品加工支援のための二次元ひずみ簡易計測方法の開発	材料科	緊急対応研究枠
県単独研究			
継続 H27～	透明体内部の屈折率分布可視化に関する研究	光科	
継続 H27～	材料評価における分析精度の高度化に関する研究	材料科	
一般共同研究			
新規	電波識別技術を応用した携帯電話通話検知装置の実用化	電子科	
継続 H26～	難加工材の加工技術およびその評価技術に関する研究	材料科	
継続 H27～	電鋳による医療用部品作製技術の開発	材料科	
新規	低環境負荷の注染用防染糊の開発	繊維高分子材料科	



新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
受託研究（競争的資金による研究）			
継続 H27～	半熔融成形法による高放熱性ヒートシンク材の開発	機械科	産学官連携研究開 発助成事業 (財団)
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	バイナリー発電システムの高度化に関する研究	材料科	
新規	3元系めっき膜の材料特性評価方法の検討	材料科	
新規	センサデバイス表面の解析による品質改善へのアプローチ	材料科	
新規	多孔質めっき処理技術の開発	材料科	
新規	超ハイテンの単軸引張試験による材料特性及びプレス成形シミュレーション用パラメータ取得	材料科	
新規	レーザー処理表面に生成された酸化皮膜の構造解析	材料科	
新規	開繊方法の異なるCFRTP成形品の機械特性について	繊維高分子材料科	
新規	超高強力ポリエチレン繊維に機能性を付与するための加工方法の最適化	繊維高分子材料科	

注) 財団：(公財)静岡県産業振興財団

(イ) 外部研究員招へい事業

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計

	人数	指導時間
工業技術研究所	11	86
沼津工業技術支援センター	5	43
富士工業技術支援センター	5	35
浜松工業技術支援センター	7	81
合計	28	245

b 工業技術研究所外部研究員

所属	専門	指導を受ける内容	指導時間
京都大学生存圏研究所	機能材料・デバイス / 電子・電気材料	流動フォーム電解質の管理及び評価	8
静岡大学	機械工学	樹脂部品の劣化原因の診断	16
(国研)産業技術総合研究所計量標準総合センター	表面粗さ、真円度の計測	表面性状評価規格 ISO25178 の概要と今後の動向	8
iway.jp	システム開発	Android 端末用アプリケーションの開発	14
東京工業大学	微生物工学	腐敗に関する微生物の特定及び加工食品における応用	8
月刊 HACCP 編集部	食品衛生	自主衛生管理の手法、HACCP の導入等	4
沼津工業高等専門学校	化学工学、エネルギー工学	廃棄バイオマスの有効活用	4
加藤特許商標事務所	産業財産権	知的財産権に関する指導	8
ケイラボ	LabView 開発	LabView プログラミング最適化方法	7
群馬大学大学院	工業電気化学	コーヒー残さの炭化前処理に関する技術的指導	4
東京大学大学院	木材物理	木質系炭素化物の物性評価	5
合計 11 人		合計 86 時間	

c 沼津工業技術支援センター外部研究員一覧

所 属	専 門	指導を受ける内容	指導時間
東京農業大学	発酵・醸造	酒造を中心に醸造について	9
静岡県立大学	蛋白質工学	有用微生物の持つ酵素の特定と評価手法	11
(株)島津製作所	分析化学	IR分析について	8
沼津工業高等専門学校	機械加工	チタン合金のエンドミル加工について	4
(国研)産業技術総合研究所	福祉工学 機械工学	水素吸蔵合金アクチュエータについて	11
合計 5 人		合計 43 時間	

d 富士工業技術支援センター外部研究員一覧

所 属	専 門	指導を受ける内容	指導時間
(一社)静岡県紙パルプ技術協会	製紙工学	新聞古紙をトイレットペーパーの原料に利用した場合に生じる課題	12
静岡県立大学	周術期看護学 急性期看護学	看護機器の研究開発や病院での臨床試験の実際	7
沼津工業高等専門学校	電気電子回路	センサの種類、用途およびインターフェース回路、また信号処理の基礎知識とデジタル信号処理技術、およびシミュレーションソフトによる信号処理の演習など	12
(株)ミットヨ	金属材料	ビッカース、ロックウェル硬さの定義と種類の説明、及びそれら試験機の操作講習など	2
(株)島津テクノロジー	材料分析	蛍光 X 線分析装置の原理説明、RoHS規制などの動向紹介、および実機での操作講習など	2
合計 5 人		合計 35 時間	

e 浜松工業技術支援センター外部研究員一覧

所 属	専 門	指導を受ける内容	指導時間
静岡大学大学院	計測工学、デジタル信号処理	電波識別技術を応用した携帯電話通話検知装置の実用化	8
静岡文化芸術大学	機械設計・デザイン	難加工材の加工技術およびその評価技術に関する研究	2 8
芝浦工業大学	電気化学	電鍍による医療用部品作製技術の開発	8
神戸女子大学	繊維加工	低環境負荷の代替注染用防染糊の開発	1 2
(株)福島テック	プラスチック	低環境負荷の代替注染用防染糊の開発	8
静岡大学大学院	塑性加工	難加工材の加工技術及びその評価技術に関する研究	9
九州大学鉄鋼リサーチセンター	金属加工 粉体加工	金属加工技術および粉体加工技術に関する指導	8
合計 7 人		合計 8 1 時間	

(ウ) 特許等の登録及び出願

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計（平成29年3月31日現在）

	出願中件数	登録件数
工業技術研究所	5 <sup>1)</sup>	20
沼津工業技術支援センター	1	1 <sup>2)</sup>
富士工業技術支援センター	3	3
浜松工業技術支援センター	6 <sup>3)</sup>	12 <sup>4)</sup>
合計	15	36

1) 意匠出願1件、外国意匠出願1件を含む。

2) 著作権

3) 外国特許出願3件を含む。

4) 外国特許登録5件を含む。

b aのうち特許等出願、登録及び消滅件数

	出願件数	登録件数	消滅件数
工業技術研究所	3 <sup>5)</sup>	2	3 <sup>6)</sup>
沼津工業技術支援センター	0	0	0
富士工業技術支援センター	0	0	1
浜松工業技術支援センター	2	3 <sup>7)</sup>	0
合計	5	5	4

5) 意匠出願1件、外国意匠出願1件を含む。

6) 外国での特許出願1件を含む。

7) 外国での特許権2件を含む。

イ 技術相談等

(ア) 技術相談

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの相談件数合計

	工業技術 研究所	沼津工業技術 支援センター	富士工業技術 支援センター	浜松工業技術 支援センター	合計
技術相談	11,833	2,346	2,425	9,393	25,997
実地指導	1,387	130	122	391	2,030
合計	13,220	2,476	2,547	9,784	28,027

b 工業技術研究所の相談件数

所 属	金属材料科	化学材料科	機械科	電子科
技術相談	847	2,250	1,534	720
実地指導	18	33	155	84
合計	865	2,283	1,689	804
所 属	食品科	環境科	ユニバーサル デザイン科	工芸科
技術相談	1,357	1,116	1,840	1,986
実地指導	117	180	89	535
合計	1,474	1,296	1,929	2,521
所 属	その他	-	-	合計
技術相談	183	-	-	11,833
実地指導	176	-	-	1,387
合計	359			13,220

c 沼津工業技術支援センター相談件数

所 属	バイオ科	機械電子科	その他	合計
技術相談	523	1,791	32	2,346
実地指導	84	25	21	130
合計	607	1,816	53	2,476

d 富士工業技術支援センター相談件数

所 属	製紙科	機械電子科	その他	合計
技術相談	1,103	1,305	17	2,425
実地指導	38	57	27	122
合計	1,141	1,362	44	2,547

e 浜松工業技術支援センター相談件数

所 属	光科	電子科	機械科	材料科
技術相談	717	1,702	645	4,846
実地指導	26	28	47	133
合計	743	1,730	692	4,979
所 属	繊維高分子 材料科	その他	-	合計
技術相談	1,381	102	-	9,393
実地指導	76	81	-	391
合計	1,457	183	-	9,784

## (イ) 依頼試験

## a 依頼試験内訳（工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計）

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	1,965	13,007,240
	定量分析	367	2,374,110
2 工業用材料	材料強度試験	2,898	4,666,220
	長期性能試験	28,080	7,531,850
	特殊試験	406	2,750,640
3 木材工業	木材試験	39	246,220
	塗料試験	28	47,120
	製品試験	592	2,756,990
4 化学工業	金属表面処理試験	92	296,620
	プラスチック、ゴム試験	9	36,370
	微生物試験	3	13,920
	セラミック試験	5	70,750
	熱勘定試験	0	0
5 機械金属工業	精密測定	279	692,520
	機械器具検査	0	0
	金属試験	376	1,905,010
	電気試験	33	135,360
6 包装材料	包装材料試験	26	34,060
7 繊維工業	繊維材料試験	12	35,190
	編織試験	73	347,870
	染色試験	0	0
	整理仕上加工試験	0	0
8 製紙工業	原材料試験	146	1,501,290
	紙質試験	496	1,508,350
	製紙及び紙加工試験	41	338,310
9 加工	塗装加工	2	18,790
	木竹材加工	1	3,180
10 設計・調整	機械等の設計及び調整	442	1,152,180
	繊維デザイン	3	5,880
	商業及び工業デザイン	19	50,940
11 写真・複写		300	146,680
12 成績書の複本		30	16,660
合 計		36,763	41,690,320

b 工業技術研究所の依頼試験実績

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	412	5,335,860
	定量分析	179	745,920
2 工業用材料	材料強度試験	619	1,149,950
	長期性能試験	8,873	2,961,510
	特殊試験	221	1,396,690
3 木材工業	木材試験	39	246,220
	塗料試験	28	47,120
	製品試験	592	2,756,990
4 化学工業	金属表面処理試験		
	プラスチック、ゴム試験	9	36,370
	微生物試験		
	セラミック試験	5	70,750
	熱勘定試験		
5 機械金属工業	精密測定	56	83,960
	機械器具検査		
	金属試験	58	396,040
	電気試験	3	40,560
6 包装材料	包装材料試験		
7 繊維工業	繊維材料試験		
	編織試験		
	染色試験		
	整理仕上加工試験		
8 製紙工業	原材料試験		
	紙質試験		
	製紙及び紙加工試験		
9 加工	塗装加工	2	18,790
	木竹材加工	1	3,180
10 設計・調整	機械等の設計及び調整	94	451,510
	繊維デザイン		
	商業及び工業デザイン	19	50,940
11 写真・複写		90	42,660
12 成績書の複本		1	490
合 計		11,301	15,835,510



c 沼津工業技術支援センターの依頼試験実績

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	32	283,370
	定量分析	1	920
2 工業用材料	材料強度試験	36	88,660
	長期性能試験	4,781	1,167,180
	特殊試験	57	264,380
3 木材工業	木材試験		
	塗料試験		
	製品試験		
4 化学工業	金属表面処理試験		
	プラスチック、ゴム試験		
	微生物試験	3	13,920
	セラミック試験		
	熱勘定試験		
5 機械金属工業	精密測定	199	581,680
	機械器具検査		
	金属試験	20	77,500
	電気試験	30	94,800
6 包装材料	包装材料試験		
7 繊維工業	繊維材料試験		
	編織試験		
	染色試験		
	整理仕上加工試験		
8 製紙工業	原材料試験		
	紙質試験		
	製紙及び紙加工試験		
9 加工	塗装加工		
	木竹材加工		
10 設計・調整	機械等の設計及び調整		
	繊維デザイン		
	商業及び工業デザイン		
11 写真・複写		1	60
12 成績書の複本			
合 計		5,160	2,572,470

d 富士工業技術支援センターの依頼試験実績

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析		
	定量分析		
2 工業用材料	材料強度試験	18	24,940
	長期性能試験	36	35,280
	特殊試験		
3 木材工業	木材試験		
	塗料試験		
	製品試験		
4 化学工業	金属表面処理試験		
	プラスチック、ゴム試験		
	微生物試験		
	セラミック試験		
	熱勘定試験		
5 機械金属工業	精密測定		
	機械器具検査		
	金属試験		
	電気試験		
6 包装材料	包装材料試験	26	34,060
7 繊維工業	繊維材料試験		
	編織試験		
	染色試験		
	整理仕上加工試験		
8 製紙工業	原材料試験	146	1,501,290
	紙質試験	496	1,508,350
	製紙及び紙加工試験	41	338,310
9 加工	塗装加工		
	木竹材加工		
10 設計・調整	機械等の設計及び調整		
	繊維デザイン		
	商業及び工業デザイン		
11 写真・複写			
12 成績書の複本		15	9,310
合 計		778	3,451,540

e 浜松工業技術支援センターの依頼試験実績

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	1,521	7,388,010
	定量分析	187	1,627,270
2 工業用材料	材料強度試験	2,225	3,402,670
	長期性能試験	14,390	3,367,880
	特殊試験	128	1,089,570
3 木材工業	木材試験		
	塗料試験		
	製品試験		
4 化学工業	金属表面処理試験	92	296,620
	プラスチック、ゴム試験		
	微生物試験		
	セラミック試験		
	熱勘定試験		
5 機械金属工業	精密測定	24	26,880
	機械器具検査		
	金属試験	298	1,431,470
	電気試験		
6 包装材料	包装材料試験		
7 繊維工業	繊維材料試験	12	35,190
	編織試験	73	347,870
	染色試験		
	整理仕上加工試験		
8 製紙工業	原材料試験		
	紙質試験		
	製紙及び紙加工試験		
9 加工	塗装加工		
	木竹材加工		
10 設計・調製	機械等の設計及び調製	348	700,670
	繊維デザイン	3	5,880
	商業及び工業デザイン		
11 写真・複写		209	103,960
12 成績書の複本		14	6,860
合 計		19,524	19,830,800

(ウ) 機器使用等

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの機器使用等の実績合計

		時間数	金額(円)
機器使用		65,236	63,817,220
研修施設等使用	研修施設	465	232,750
	無響室	112	414,400
	電波暗室	485	3,781,200
合 計		66,298	68,245,570

b 工業技術研究所の機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		15,033	16,836,840
研修施設等使用	研修施設	144	62,700
	無響室	7	25,900
	電波暗室 <sup>1)</sup>	-	-
合 計		15,184	16,925,440

1) 電波暗室の施設はない

c 沼津工業技術支援センターの機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		9,649	13,003,320
研修施設等使用	研修施設	34	49,600
	無響室 <sup>1)</sup>	-	-
	電波暗室 <sup>2)</sup>	-	-
合 計		9,683	13,052,920

1) 無響室の施設はない

2) 電波暗室の施設はない

d 富士工業技術支援センターの機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		5,272	7,496,300
研修施設等使用	研修施設	241	59,450
	無響室 <sup>1)</sup>	-	-
	電波暗室 <sup>2)</sup>	-	-
合 計		5,513	7,555,750

1) 無響室の施設はない

2) 電波暗室の施設はない

e 浜松工業技術支援センターの機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		35,282	26,480,760
研修施設等使用	研修施設	46	61,000
	無響室	105	388,500
	電波暗室	485	3,781,200
合 計		35,918	30,711,460

(ウ) 研究会の育成

a 工業技術研究所

研究会名	発足年月	会員数
静岡県プレス技術研究会	昭和44年6月	35社
静岡県食品技術研究会	昭和47年12月	112社
静岡県資源環境技術研究会	昭和44年11月	83社
静岡県プラスチック技術研究会	平成2年6月	36社
静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会	平成7年5月	44社
椅子の質と美しさを考える会	平成20年10月	6人

b 沼津工業技術支援センター

研究会名	発足年月	会員数
静岡県東部精密技術研究会	平成26年4月	36社
静岡県バイオテクノロジー研究会	昭和59年9月	32社

c 富士工業技術支援センター

研究会名	発足年月	会員数
静岡県紙パ技術研究フォーラム	昭和62年9月	8社

d 浜松工業技術支援センター

研究会名	発足年月	会員数
浜松機械技術研究会	昭和39年12月	61社
表面技術研究会	昭和60年8月	38社
浜松繊維加工技術研究会	平成7年7月	13社
浜松品質工学研究会	平成9年3月	49人
浜松EMC研究会	平成20年6月	20社
浜松地域CFRP事業化研究会	平成21年4月	53社
はままつ超ハイテン研究会	平成28年6月	11社

(オ) 研修生の受入れ

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計

単位：人

所属	研修区分	一般研修	就業体験研修	連携大学院
工業技術研究所		3	6	0
沼津工業技術支援センター		1	1	0
富士工業技術支援センター		0	2	0
浜松工業技術支援センター		2	0	0
合計		6	9	0

b 工業技術研究所の研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
食品科	濃縮エキス製造機工ボパールの実機テスト	平成 28 年 6 月 10 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日	県内企業 1 人
食品科	新規だしのレシピ作成と打錠化検討	平成 28 年 7 月 14 日 ~ 平成 29 年 3 月 30 日	県内企業 1 人
食品科	粒度分布測定装置を用いた豆乳粒度の測定	平成 28 年 11 月 1 日 ~ 平成 29 年 2 月 28 日	県内大学 1 人
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
食品科	食品の試作、分析、計測、評価業務及び企業訪問	平成 28 年 8 月 29 日 ~ 平成 28 年 9 月 2 日	県内大学 3 人
化学材料科 食品科 環境科 工芸科	各科の業務	平成 28 年 8 月 29 日 ~ 平成 28 年 9 月 2 日	県外大学 3 人
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

c 沼津工業技術支援センターの研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
バイオ科	変性剤濃度勾配ゲル電気泳動(DGGE)法を用いた微生物群集解析	平成 28 年 6 月 6 日 ~ 平成 29 年 3 月 15 日	県内工業高等専門学校 1 人
就業体験研修(インターンシップ)			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
バイオ科 機械電子科	各科の業務	平成 28 年 8 月 29 日 ~ 平成 28 年 9 月 2 日	県外大学 1 人
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

d 富士工業技術支援センターの研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
就業体験研修(インターンシップ)			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
製紙科 機械電子科	各科の業務	平成 28 年 9 月 6 日 ~ 平成 28 年 9 月 8 日	県内工業高校 2 人
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

e 浜松工業技術支援センターの研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
材料科	金属材料の基礎と評価	平成 29 年 3 月 7 日 ~ 平成 29 年 3 月 17 日	県内企業 2 名
就業体験研修(インターンシップ)			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

ウ 技術情報提供

(ア) 研究報告関係

研究成果事例集	展示会での閲覧及び協議会等で配布 ホームページに掲載
工業技術研究所研究報告	1,300部

(イ) 研究発表会関係

工業技術研究所 沼津・富士・浜松 工業技術支援セ ンター	開催年月日	H29.3.16
	参加者数	286人
	要旨集	500部
沼津工業技術 支援センター	開催年月日	H28.5.27
	参加者数	41人
	要旨集	75部
富士工業技術 支援センター	開催年月日	H29.3.14
	参加者数	100人
	要旨集	150部
浜松工業技術 支援センター	開催年月日	H28.7.1
	参加者数	143人
	要旨集	160部

\* H29.3.16の研究発表会は、本所及び各工業技術支援センターが合同で開催した。

a 工業技術研究所研究発表会の実績（平成29年3月16日）

テーマ名	発表者
次世代照明用部品の総合開発・評価に関する研究の概要	鈴木敬明
白色光干渉測定を用いた表面性状評価事例	柳原亘
アルミ蒸着膜の微細構造と反射特性の向上	真野毅
レンズ材料の屈折率分散が像のボケに与える影響	豊田敏裕
回折光学素子の照明部品応用へ向けた検討	志智亘
オーダーメイドマットレス設計手法	船井孝
ドイツ・フラウンホーファー研究機構の調査報告 -今後の静岡県との連携-	鈴木敬明
IoT導入の勘どころ Wi-Fiモジュールを用いたIoTデバイス開発事例の紹介	岩崎清斗
無線センサモジュールを用いた遠隔モニタリング	竹居翼
音響透過損失と残響室法吸音率の測定	木野直樹



テーマ名	発表者
医療分野に貢献するプラスチックのレーザー加工技術 眼鏡レンズのレーザー染色と波長2 $\mu$ mレーザーによる透明樹脂の溶着	植田浩安 (浜松)
セルロースナノファイバーの紙への応用の検討	齊藤将人 (富士)
セルロースナノファイバーで接着剤はどう変わる？	前田研司
静岡産バラの香りを生かしたものづくり	山下里恵
天然素材を使用したお肌にやさしいコスメ製品の開発に向けて	石橋佳奈
過熱水蒸気により作製した竹活性炭の蓄電性能	菊池圭祐
“森林の都”を実現する県産材の需要と供給の拡大のための技術開発 自然の力を利用して燃えない・腐らない木をつくる！	赤堀篤
“森林の都”を実現する県産材の需要と供給の拡大のための技術開発 県産材の弱点「キズがつく」を克服する塗装技術の開発	渡邊雅之
“森林の都”を実現する県産材の需要と供給の拡大のための技術開発 県産スギ・ヒノキ材を用いた製品開発	藤浪健二郎
ロコモ予防高機能型食品の開発	渡瀬隆也
静岡県産白葉茶を用いた高級ボトル茶飲料の開発	浅沼俊倫
機能性を有する戸田タチバナヨーグルトソースの開発	松野正幸
タブレットタイプのだしの開発	袴田雅俊
食の都しずおかの微生物をフル活用、ビジネスチャンス拡大！ 微生物ライブラリーの構築と新規発酵食品の開発	岩原健二 (沼津)
顕微IRイメージング法による高分子フィルムの化学修飾深度解析	菅野尚子
パソコンで最新の有機EL材料開発に迫れるか？ 分子シミュレーションによる機能性有機材料の評価	田村克浩
熱分析装置による高分子材料の評価	田中翔悟
高度分析機器によるめっき評価事例の紹介	綿野哲寛
あいちシンクロトロン光センターを利用しためっき評価事例の紹介	松下五樹
粉体を用いたレーザーコーティング技術 ダイカスト金型向け表面処理	増井裕久
世界最小レベルの貴金属パイプの開発	田光伸也 (浜松)
分散型エネルギー社会に貢献する小型メタン発酵プラントの開発 湿式メタン発酵のための固形物前処理の最適化	中島大介
分散型エネルギー社会に貢献する小型メタン発酵プラントの開発 静岡版メタン発酵処理実証化のためのパイロットプラント製作	太田良和弘
生菌群集解析手法(EMA-PCR-DGGE)の開発！	高木啓詞 (沼津)
デジタル×モノづくり(デザイン支援事例の紹介)	多々良哲也
手の形をデータ化する	小松剛

テーマ名	発表者
腰の筋負担を測るセンサーの開発	易強

b 沼津工業技術支援センター研究発表会の実績（平成28年5月27日）

テーマ名	発表者
食の都しずおかの微生物をビジネスに！ 微生物ライブラリーの構築と新規発酵食品の開発	岩原健二
要介護者を無拘束で見守るセンサシステムの開発	中山洋 （富士）
医療現場での局所圧迫による創傷予防技術開発を目指して 無騒音・無振動のアクチュエータの開発	本多正計
リン酸塩処理槽における槽内ヒータへのスケール付着抑制に関する研究	橘川義明

c 富士工業技術支援センター研究発表会の実績（平成29年3月14日）

テーマ名	発表者
セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化 全体の計画と進捗について	齊藤将人
セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化 CNF塗工紙の作製及び評価	白井圭
セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化 CNFの内添紙への利用	山口智久
トイレットペーパーに新聞古紙を利用するための技術開発（第2報）	齊藤和明
見守りシステムの応用展開に関する研究（1） 応用展開の状況と牛の分娩検知への検討	中山洋
見守りシステムの応用展開に関する研究（2） 牛の分娩検知方法の検討	井出達樹
新型プラズマ処理装置の開発と今後の展開について	高木誠

d 浜松工業技術支援センター研究発表会の実績（平成28年7月1日）

テーマ名	発表者
透明プラスチックのレーザー溶着 レーザー照射位置の影響	山下清光
超短パルスレーザーピーンフォーミングの高効率化	鷺坂芳弘
レーザーによる繊維へのカラー微細マーキング 染料塗布方法とマーキングの微細化	植田浩安
透過光位相計測による透明体屈折率分布の可視化	中野雅晴
無線LANにおける無線通信方式の識別アルゴリズムの検証	杉森正康
CFRPの穴加工における工具形状の影響	大澤洋文

テーマ名	発表者
熱流体解析導入例 ヒートシンク性能評価	長津義之
高意匠コーデュロイの開発	森田達弥
薄いめっき皮膜の硬さ計測方法の検討	田中宏樹
微小貴金属パイプの開発	田光伸也
3D プリンタ活用事例 ジグ作製で効率化	伊藤芳典
デジタルマイクロスコープで 5000 倍の観察が可能となりました	上野貴康

(ウ) 研究所情報等の提供

刊行物名	発行部数 (部)	ホームページ 掲載
工業技術研究所ニュース	1,500	
沼津工業技術支援センターニュース	1,200	
富士工業技術支援センターニュース	1,200	
浜松工業技術支援センターニュース	2,000	
工業技術情報(年2回)	5,400	
静岡県工業技術研究所年報	-	
静岡県工業技術研究所メールマガジン	21回	-

(エ) 研究所の事業広報等

見学の受入	工業技術研究所		344人
	沼津工業技術支援センター		54人
	富士工業技術支援センター		331人
	浜松工業技術支援センター		174人
「県民の日」	工業技術研究所	開催年月日	H28.8.5
		参加者数	207人
研究所 フェア	沼津工業技術 支援センター	開催年月日	H28.8.5
		参加者数	223人
及び センター フェア	富士工業技術 支援センター	開催年月日	H28.8.5
		参加者数	222人
	浜松工業技術 支援センター	開催年月日	H28.8.5
		参加者数	260人

(オ) 講習会等

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	実施回数	参加者数
工業技術研究所	38	1,458
沼津工業技術支援センター	12	485
富士工業技術支援センター	21	831
浜松工業技術支援センター	27	1,192
合計	98	3,966

b 工業技術研究所の実績

年月日	件名	会場	参加人数	共催等
H28.4.19 H28.5.17 H28.6.21 H28.7.19 H28.9.27 H28.11.14 H28.12.20	椅子の質と美しさを考える会	工業技術研究所	6 7 6 6 6 6 6	椅子の質と美しさを考える会
H28.5.20	静岡県プレス技術研究会講演会	もくせい会館	29	静岡県プレス技術研究会
H28.5.31	第1回 公設試実習講習会	(地独)東京都立産業技術研究センター	18	(一社)プラスチック成形加工学会、(地独)東京都立産業技術研究センター、秋田県産業技術センター、(地独)大阪市立工業研究所
H28.6.17	静岡県資源環境技術研究会工場見学会	(株)伊藤園 小水力伊達方発電所	31	静岡県資源環境技術研究会
H28.6.29	食品技術研修会	静岡グランドホテル中島屋	100	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
H28.9.23		ホテルプリヴェ静岡ステーション	135	静岡県食品技術研究会 静岡大学食品・生物産業創出拠点 他
H28.10.14		静岡グランドホテル中島屋	56	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
H29.1.19 -1.20		伊那食品工業(株)、しあわせ信州食品開発センターほか	30	
H29.3.7		プラサヴェルデ	45	

年月日	件名		会場	参加人数	共催等
H28.7.5	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会 講習会	第1回	工業技術研究所	30	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会
H28.9.21		第2回		54	
H28.12.14		第3回	静岡県教育会館	37	
H29.1.25		第4回	工業技術研究所	13	
H28.7.22	平成28年度デザインマッチング事業講習会・マッチング交流会	第1回	静岡県男女共同参画センターあざれあ	27	
H28.11.4		第2回	グランシップ	9	
H28.8.21	学習会「地域資源としての廃棄物～廃棄物は存在しない、すべて資源である～」		工業技術研究所	10	静岡県資源環境技術研究会
H28.9.2	静岡県プレス技術研究会講習会	表面性状の測定と評価技術	工業技術研究所	31	静岡県プレス技術研究会
H28.10.28		金属組織の観察と試料作製の基礎		39	
H29.2.3		自動車軽量化のための材料加工技術の最新動向		51	静岡県プレス技術研究会 県立清水技術専門学校
H28.9.16	平成28年度デザイン使用者育成ワークショップ事業ワークショップ講習会	第1回	工業技術研究所	16	
H29.2.22		第2回		41	
H28.9.20	ふじのくにCNFプロジェクト第1回技術講演会		工業技術研究所	54	静岡県 (公財)静岡県産業振興財団 静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会
H28.10.5	雇用創造プロジェクト講習会	微生物検査の基礎実習	工業技術研究所	8	静岡県食品技術研究会
H28.11.16		食品衛生管理の実践研修		18	
H29.2.15		新規殺菌剤と水分活性の基礎研修		36	
H29.3.2 -3.3		国際整合性を見すえた食品微生物検査実習		東海大学海洋学部	
H28.10.19	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会 見学会		ヤマハ(株)、アローズジャパン(株)、スズキ歴史館	13	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会

年月日	件名	会場	参加人数	共催等
H28.10.25	環境視察会	コカ・コーラー ストジャパン東海 工場、麒麟ビ ール名古屋工場	20	静岡県資源環境技術研究会
H28.11.21	第21回分析技術研修会	工業技術研究所	38	静岡県資源環境技術研究会 (一社)静岡県計量協会・環境計量 証明部会
H28.12.9	熱分析装置普及講習会	工業技術研究所	48	静岡県プラスチック技術研究 会
H29.3.5	第5回排水処理技術セミナー	工業技術研究所	65	静岡県資源環境技術研究会
H29.3.16	研究発表会	グランシップ	286	
実施回数 38回			参加者数 1,458人	

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数	共催等
H28.4.15	静岡県東部精密技術研究会 第27回総会 特別講演会	三島商工会議所	96	静岡県東部精密技術研究会 沼津センター協議会
H28.6.16	静岡県バイオテクノロジー研 究会 特別講演会	グランディエールブケト ーカイ	37	静岡県バイオテクノロジー研 究会
H28.5.27	沼津工業技術支援センター研 究発表会	沼津工業技術支援センタ ー	41	沼津センター協議会
H28.6.24	静岡県東部 精密技術研 究会	第76回研究会	39	静岡県東部精密技術研究会 沼津センター協議会
H28.10.7		第77回研究会	52	
H29.1.30		第78回研究会	36	
H28.8.9	6次産業化ネットワーク東部 推進会議及び研修会	沼津工業技術支援センタ ー	34	静岡県東部農林事務所 沼津センター協議会
H28.8.23	静岡県東部精密 技術研究会 見学会	第69回 浜松ホトニクス(株)豊岡 製作所、ヤマハ発動機 (株)	24	静岡県東部精密技術研究会 沼津センター協議会
H29.3.3		第70回 THKインテックス(株)三 島工場	23	
H28.8.23	酒造研修会	沼津工業技術支援センタ ー	41	静岡県酒造組合 静岡県杜氏研究会 沼津センター協議会
H28.8.24			37	

年月日	件名	会場	参加人数	共催等
H28.11.15	静岡県バイオテクノロジー研究会 見学会	静岡県農林技術研究所果樹研究センター アサヒ飲料(株)富士山工場	25	静岡県バイオテクノロジー研究会
実施回数 12回			参加者数 485人	

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数	共催等	
H28.5.17	静岡県紙パ技術研究フォーラム	講演会	富士工業技術支援センター	11	静岡県紙パ技術研究フォーラム
H28.9.14		見学会	鶴見製紙(株)	9	
H28.11.29		勉強会	富士工業技術支援センター	12	
H29.2.27		勉強会	—	12	
H28.5.24	紙関連技術講演会	第1回	富士工業技術支援センター	49	富士センター協議会 (一社)静岡県紙パルプ技術協会
H28.7.13		第2回		83	富士センター協議会 (一社)静岡県紙パルプ技術協会 (一社)静岡県紙業協会
H28.9.14		第3回		48	富士センター協議会 (一社)静岡県紙パルプ技術協会
H28.11.30		第4回		52	
H29.2.8		第5回		48	
H28.6.7	「強みを活かした勝てるものづくり」講演会	ホテルグランド富士	53	富士センター協議会機械・電子部会	
H28.9.16	IOTセミナー「生産・製造分野におけるIOT活用の技術動向」	富士工業技術支援センター	48	富士センター協議会機械・電子部会	
H28.11.8	ふじのくにCNFプロジェクト推進事業技術講演会	第2回	富士市勤労者総合福祉センター	100	ふじのくにCNFフォーラム、富士市、富士センター協議会機械・電子部会、(公財)静岡県産業振興財団
H29.2.14		第4回	富士文化会館ロゼシアター	50	ふじのくにCNFフォーラム、富士市、(公財)静岡県産業振興財団
H29.3.21		第6回	—	63	
H28.11.21	現場で役立つ輸送環境試験セミナー	富士工業技術支援センター	32	富士センター協議会機械・電子部会	



年月日	件名	会場	参加人数	共催等
H29.1.11	平成28年度富士市生産現場改善リーダー養成セミナー	富士工業技術支援センター	6	富士市、ジヤトコ(株)
H29.1.20		富士市交流プラザ	6	
H29.1.25		富士工業技術支援センター	6	
H29.3.2	ドローン(無人航空機)講演会	富士工業技術支援センター	33	富士センター協議会機械・電子部会
H29.3.14	富士工業技術支援センター研究発表会	富士工業技術支援センター	100	
H29.3.22 -3.24	ふじのくにC N F技術者研修(実習)	富士工業技術支援センター	10	ふじのくにC N Fフォーラム 富士センター協議会
実施回数 21回			参加者数 831人	

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数	共催等
H28.4.28 H28.5.27 H28.6.20 H28.7.25	浜松品質工学研究会	浜松工業技術支援センター	20	浜松センター協議会 浜松品質工学研究会
18				
17				
14				
H28.5.26	切削油剤の基礎	浜松工業技術支援センター	48	浜松センター協議会 浜松機械技術研究会
H28.5.16	パラメータ設計入門講座	浜松工業技術支援センター	12	浜松センター協議会 浜松品質工学研究会
H28.6.2	測定の基礎	浜松工業技術支援センター	24	浜松センター協議会 浜松機械技術研究会
H28.6.29	機械技術研究会特別講演会	クラウンパレス浜松	30	浜松センター協議会 浜松機械技術研究会
H28.7.1	研究・開発成果発表会	浜松工業技術支援センター	143	浜松センター協議会 静岡大学、静岡理工科大学、 静岡文化芸術大学、浜松地域産業 支援ネットワーク会議
H28.7.8	機能分解法入門講座	浜松工業技術支援センター	9	浜松センター協議会 浜松品質工学研究会
H28.7.15	機械技術研究会見学会	花王(株) TOTOサニテクノ(株)	22	浜松センター協議会 浜松機械技術研究会
H28.12.7		(株)関ヶ原製作所 (株)日に新た館	16	
H28.8.25	切削工具の基礎	浜松工業技術支援センター	87	浜松センター協議会 浜松機械技術研究会

年月日	件名	会場	参加人数	共催等
H28.9.15	EMC対策セミナー「現場で使える"即効"EMC対策法の原理や実例」	浜松工業技術支援センター	48	浜松センター協議会 浜松EMC研究会
H28.10.4	表面粗さ測定	浜松工業技術支援センター	92	浜松センター協議会 浜松機械技術研究会
H28.10.21	初めて使うARM_Cortex-Aプロセッサ導入講座	アクトシティ浜松コンgresセンター	43	(公財)浜松地域イノベーション推進機構 浜松商工会議所
H28.10.26	シミュレーション	浜松工業技術支援センター	27	浜松センター協議会 浜松機械技術研究会
H28.11.9	デジタルモノづくり	浜松工業技術支援センター	34	浜松センター協議会 浜松機械技術研究会
H28.11.30	腐食と防食セミナー	浜松工業技術支援センター	34	浜松センター協議会 浜松表面技術研究会
H29.1.18	ドイツの測定技術に学ぶ	浜松工業技術支援センター	46	浜松センター協議会 浜松機械技術研究会
H29.1.25	ノイズ計測セミナー	浜松工業技術支援センター	50	浜松センター協議会
H29.2.22	「次世代ものづくりに向けたIoT活用」講習会	浜松工業技術支援センター	105	浜松センター協議会
H29.2.23	溶接技術の動向と溶接解析の実践	浜松工業技術支援センター	56	浜松センター協議会 浜松機械技術研究会
H29.3.1	断面作製・観察・分析技術セミナー	浜松工業技術支援センター	45	浜松センター協議会
H29.3.7	3Dプリンター活用セミナー	浜松工業技術支援センター	47	浜松センター協議会
H29.3.17	品質工学講演会	浜松工業技術支援センター	57	浜松品質工学研究会 浜松センター協議会
H29.3.23	日本塑性加工学会CFRP成形加工研究委員会・浜松地域CFRP事業化研究会合同研究会	浜松工業技術支援センター	48	(一社)日本塑性加工学会 CFRP成形加工研究委員会 浜松地域CFRP事業化研究会 (公財)浜松地域イノベーション推進機構
実施回数 27回			参加者数 1,192人	

(カ) 講師活動

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計

	活動回数	参加者数
工業技術研究所	34	839
沼津工業技術支援センター	11	438
富士工業技術支援センター	8	614
浜松工業技術支援センター	31	665
合計	84	2,556

b 工業技術研究所の実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
H28.5.18	地域づくりの課題	静岡大学	50	静岡大学	佐野禎彦
H28.6.27	平成28年度第1回静岡県バイオマス利活用情報交換会議	静岡県産業経済会館	14	NPO法人 静岡県バイオマス利活用ネットワーク	岡本哲志
H28.7.5	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会	工業技術研究所	第1回講習会	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会	多々良哲也 櫻川智史
H29.9.21			第2回講習会・ワークショップ		54
H28.7.7 H28.7.15 H28.8.1 H28.8.2 H28.8.10 H28.8.15	デジタルものづくり体験	工業技術研究所	1 1 3 1 1 1	工業技術研究所	多々良哲也
H28.7.21	知的財産マッチング in 浜松	アクトシティ浜松	50	静岡県(公財)静岡県産業振興財団	櫻川智史

年月日	講習会等の名称		会場	参加者数	主催	講師氏名
H28.8.4	総合食品学講座	微生物検査技術	工業技術研究所	18	(公財)静岡県産業振興財団	油上保 渡瀬隆也 浅沼俊倫 松野正幸 三宅健司 袴田雅俊
H28.8.9		微生物検査技術		19		
H28.8.30		食品の機器分析実習(GC、LC)		20		
H28.10.4		小型食品加工機器実習		11		
H28.10.6				10		
H28.9.8	デザイン事業ワークショップ	第1回講習会	工業技術研究所	4	工業技術研究所	多々良哲也
H29.2.1		第2回講習会		10		
H29.2.8				11		
H29.2.15				10		
H29.2.22				10		
H28.9.21	ふじのくにCNFプロジェクト推進事業技術講演会	第1回	工業技術研究所	54	静岡県工業技術研究所(公財)静岡県産業振興財団 静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会	櫻川智史
H29.2.14		第3回	静岡県男女共同参画センターあざれあ	51	(公財)静岡県産業振興財団	前田研司
H28.10.5	雇用創造プロジェクト講習会	微生物検査の基礎実習	工業技術研究所	8	工業技術研究所	袴田雅俊
H29.3.3		国際整合性を見すえた食品微生物検査実習	東海大学海洋学部	27		
H28.11.4	産学官共同研究の事例に学ぶセミナー		静岡市産学交流センター	50	静岡市産学交流センター	山下里恵
H28.11.11	ものづくり現場力向上実務セミナー		森町商工会館	16	森町商工会	杉山直人
H28.11.24	光・色・音の環境(特別講師)		大手前大学	23	大手前大学	鈴木敬明
H28.12.12	未来アカデミー2016後継者養成講座		産業経済会館	26	静岡県中小企業団体中央会	櫻川智史
H28.12.20	静岡化学工学懇話会 第24回静岡フォーラム		アクトシティ浜松	80	静岡化学工学懇話会 化学工学会東海支部	太田良和弘
H28.12.22	全学共通科目特別講義 静岡地域食材学B		静岡県立大学	77	静岡県立大学	渡瀬隆也

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
H29.1.20	福祉・介護機器製品ニーズ発表会	静岡県男女共同参画センターあざれあ	49	(公財)静岡県産業振興財団	佐野禎彦
H29.1.20	「人」+「木」=「休」?-何を調べれば良いのか-	京都大学北部キャンパス	30	日本生理人類学会・日本木材学会合同研究会	櫻川智史
H29.3.14	技術講習会	清水鉄工機械工業協同組合	19	清水鉄工機械工業協同組合	綿野哲寛
活動回数 34回			参加者数 839人		

c 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
H28.7.25	酒造好適米有望系統「静系(酒)94号」試験醸造酒の試飲評価会	もくせい会館	32	静岡県誉富士普及推進協議会	勝山聡 鈴木雅博
H28.8.10	平成28酒造年度貯蔵出荷管理指導	醍醐荘(磐田市)	25	静岡県酒造組合	勝山聡 鈴木雅博
H28.9.16		沼津工業技術支援センター	20		
H28.8.20	誉富士セミナー	メゾン・ド・アニベルセル(富士市)	68	ふじのくに食の都食育推進協議会	勝山聡
H29.2.26		日本平ホテル	70		
H28.8.23	酒造研修会	沼津工業技術支援センター	41	静岡県酒造組合	岩原健二 勝山聡 鈴木雅博
H28.8.24			37		
H28.9.21	「河津桜酵母」酒造研修会	ホテルシティオ静岡	25	静岡県誉富士普及推進協議会、静岡県酒造組合	勝山聡
H28.10.12	銘酒探訪蔵の会展示会 河津桜酵母セミナー	グランシップ	90	(株)平喜	勝山聡
H28.10.28	静岡県成長産業分野人材育成支援事業 幾何公差(実践活用編)	沼津工業技術支援センター	5	沼津技術専門校	飯野修 本多正計 橘川義明 是永宗祐
H28.12.6	平成28年度酒造講話会	静岡県酒造会館	25	静岡県酒造組合	鈴木雅博
活動回数 11回			参加者数 438人		

d 富士工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
H28.5.26	ふじのくにCNFフォーラム	富士勤労者総合福祉センター ラ・ホール富士	230	ふじのくにCNFフォーラム	佐藤廣美
H28.6.7	第1回富士市CNF研究会	富士商工会議所	64	富士市、富士市商工会議所、富士市商工会	木野浩成
H28.7.26	第128回しみず新事業創出研究会	ホテルクレスト清水	29	静岡商工会議所	木野浩成
H28.8.25	静岡県ニュービジネス協議会視察	富士工業技術支援センター	17	静岡県ニュービジネス協議会	木野浩成
H28.10.24 -10.31	平成28年度中小企業等技術者研修（製紙工学課程・中期）	富士工業技術支援センター	24	(一社)静岡県紙パルプ技術協会	木野浩成 深沢博之 齊藤和明 齊藤将人 白井圭 山口智久
H28.10.27	平成28年度第2回磐田新産業創出協議会	磐田商工会議所	32	磐田新産業創出協議会	木野浩成
H28.12.5	第197回木材科学委員会	紙パルプ会館	18	紙パルプ技術協会 木材科学委員会	深沢博之
H29.1.27	ふじのくにCNFフォーラム第4回セミナー	富士市産業交流展示館「ふじさんめっせ」	200	ふじのくにCNFフォーラム	佐藤廣美
活動回数 8 回			参加者数 614 人		

e 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
H28.4.21	企業社内セミナー・発表会	県内企業	14	県内企業	針幸達也
H28.5.19			15		
H28.6.23			16		
H28.7.7			38		
H28.7.21			17		
H28.9.29			12		
H28.10.20			12		
H28.11.24			10		
H28.12.22			12		
H29.1.30			12		
H29.2.28	12				
H28.4.22	第28回射出成形技術・評価研究会	TKP京都四条烏丸カンファレンスセンター	37	粉体粉末冶金協会 射出成形委員会	伊藤芳典

年月日	講習会等の名称		会場	参加者数	主催	講師氏名
H28.5.16	パラメータ設計入門講座		浜松工業技術支援センター	12	浜松品質工学研究会	針幸達也
H28.6.9	平成28年度 第1回 磐田新産業創出協議会		ワークピア磐田	38	磐田商工会議所	吉岡正行
H28.6.9	経営システム工学		静岡大学	68	静岡大学	針幸達也
H28.7.7	製造中核人材育成講座		浜松工業技術支援センター	32	(公財)浜松地域イノベーション推進機構・浜松市	伊藤芳典 鷺坂芳弘
H28.7.28	宇宙航空技術利活用研究会説明会		グランドホテル浜松	50	宇宙航空技術利活用研究会	神谷真好
H28.7.29	はままつ超ハイテン研究会役員会		浜松地域イノベーション推進機構	11	はままつ超ハイテン研究会	長津義之
H28.8.25	はままつ超ハイテン研究会共同実験		浜松工業技術支援センター	18	はままつ超ハイテン研究会	長津義之
H28.9.7	成長分野人材育成支援事業講習会	3D-CAD&3Dプリンター活用法	浜松工業技術支援センター	9	浜松技術専門学校	伊藤芳典
H28.10.13		TIG溶接と溶接部の試験・検査		8		伊藤芳典
H28.10.26				9		伊藤芳典
H28.11.2		チタンとその加工技術	浜松技術専門学校	6		植松俊明
H28.9.13-14	レーザー中核人材育成事業実習	浜松工業技術支援センター	9	光産業創成大学院大学	鷺坂芳弘 山下清光 上野貴康	
H28.10.6-7			9			
H28.11.24-25			8			
H28.9.9	第33回機器分析講座「無機材料の状態分析とマッピング解析」		静岡理工科大学	23	静岡理工科大学	吉岡正行
H28.11.10	第34マイクロアナリシス研究懇談会		ウィンクあいち	45	(株)島津製作所	吉岡正行
H28.12.14	はままつ超ハイテン研究会テクニカルイノベーションフォーラム		21世紀倶楽部	22	はままつ超ハイテン研究会	長津義之
H29.1.27	塑性加工学会東海支部第82回塑性加工懇談会		刈谷産業振興センター	25	(一社)日本塑性加工学会東海支部	鷺坂芳弘
H29.2.3	群馬県分析研究会 第41回研究会		群馬県立群馬産業技術センター	56	群馬県立群馬産業技術センター	吉岡正行
活動回数 31回				参加者数 665人		

(キ) 委員派遣

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	派遣回数	延べ派遣者数
工業技術研究所	98	98
沼津工業技術支援センター	16	19
富士工業技術支援センター	39	42
浜松工業技術支援センター	85	89
合計	238	248

b 工業技術研究所の実績

年月日	委員会等の名称	会場	主催	派遣者氏名
H28.4.1- H29.3.31	静岡県立大学連携大学院 客員教授	静岡県立大学	静岡県立大学	櫻川智史
H28.4.1- H29.3.31	静岡県立大学連携大学院 客員准教授	静岡県立大学	静岡県立大学	鈴木敬明
H28.4.14	しみず新事業創出研究会	静岡市商工会議所清 水支所	静岡商工会議所し みず新事業創出研 究会	杉山直人
H28.4.19	静岡県開発型企业研究会総 会	静岡グランドホテル 中島屋	(公財)静岡県産業 振興財団	杉山直人
H28.4.22	プラスチック成形加工学会 東海支部運営委員会	JSOL名古屋	プラスチック成形 加工学会東海支部	田村克浩
H28.5.13	プラスチック成形加工学会 東海支部総会	愛知県産業労働セン ターウイंकあいち		
H28.6.3	プラスチック成形加工学会 東海支部運営委員会	JSOL名古屋		
H28.5.20	プラスチック成形加工学会 理事会	五反田文化会館	プラスチック成形 加工学会	田村克浩
H28.6.14	プラスチック成形加工学会 本部総会	タワーホール船橋		
H28.9.14 H28.12.1	プラスチック成形加工学会 理事会	五反田文化会館		



年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H28.5.11 H28.5.12 H28.5.13 H28.5.16 H28.5.17	経営革新補助金審査会	県庁	静岡県	北川剛弘
H28.6.20				田中孝彦
H28.5.13	(公社)日本木材加工技術協会中部支部理事会	名古屋大学	(公社)日本木材加工技術協会	櫻川智史
H28.5.20 H28.5.23	事業化推進助成事業 審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	北川剛弘
H28.5.18 H28.5.25	環境健康科学特論	静岡県立大学	静岡県立大学	鈴木敬明
				櫻川智史
H28.5.28	福祉・介護機器スタートアップ支援事業審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	佐野禎彦
H28.11.1	福祉・介護機器チャレンジボックス製品ニーズ評価委員会			
H29.1.20	福祉・介護機器スタートアップ支援事業試作開発発表会			
H29.1.20	福祉・介護機器チャレンジボックス製品ニーズ発表会			
H28.6.1	SGFコンテスト2016	ツインメッセ静岡	静岡県家具工業組合	櫻川智史
H28.6.2	食品等開発助成事業審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	佐野禎彦
H28.6.2	技能検定委員会議	もくせい会館	静岡県職業能力開発協会	赤堀篤
H28.7.9	技能検定実技試験(噴霧塗装)	県内企業		
H28.8.7	静岡県職業能力開発協会	県内企業		
H28.6.3 H28.6.17	静岡市産学交流センター審査会	静岡市産学交流センター	静岡市産学交流センター	田中孝彦
H28.6.7 H28.6.23 H28.7.27 H28.10.21 H28.12.12 H29.1.16	静岡市コーディネータ連絡会議	静岡市産学交流センター	静岡市	田中孝彦
H28.6.16 H28.9.16	静岡県環境放射能測定技術会	静岡県産業経済会館	静岡県環境放射能測定技術会	北川剛弘
H28.11.21		もくせい会館		
H29.2.16		原子力防災センター		

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H28.6.22 H28.7.11 H28.10.13 H28.11.29 H29.2.17 H29.2.27 H29.3.14 H29.3.17	助成金コーディネート	県内企業	(公財)静岡県産業振興財団	杉山直人
H28.7.5	先端農業モデル創出事業審査委員会	県庁	静岡県	杉山直人
H29.3.1	先端的農業モデル創出事業成果報告会			
H28.7.6 H29.2.7	健康産業雇用創造プロジェクト協議会	静岡グランドホテル中島屋 ホテルアソシア静岡	静岡県経済産業部雇用推進課	油上保
H28.7.13	静岡市新商品等開発事業審査	ツインメッセ静岡	静岡市	杉山直人
H28.7.15	静岡市地域産業活性化協議会	静岡市産学交流センター	静岡市	北川剛弘
H28.8.9	静岡県農業新技術開発研究会総会	静岡県農業会館	JA静岡中央会農政営農部	杉山直人
H28.8.25	2016グッドデザインしずおか一次審査会	県庁	静岡県経済産業部地域産業課	北川剛弘
H28.9.27	2016グッドデザインしずおか二次審査会	工業技術研究所		
H28.11.7	グッドデザインフォーラム	グランシップ		
H28.8.26	NEDO新技術調査委員	東京ビッグサイト	(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構	田中孝彦
H28.9.13 H28.11.29	ヒューマンファクターを考慮した照明制御に関する特別研究委員会	照明学会事務局	(一社)照明学会	鈴木敬明
H28.12.29 H29.2.27	日本照明委員会特別技術委員会	山形大学東京サテライト	(一社)日本照明委員会	
H28.11.11 H29.2.18	照明シミュレーションのためのプラットフォーム整備に関する研究調査委員会	照明学会事務局 工業技術研究所	(一社)照明学会	豊田敏裕
H28.9.23 H29.2.23	平成28年度補正革新的なものづくり・商業・サービス開発支援補助金に係る地域採択審査委員会	静岡県産業経済会館	静岡県中小企業団体中央会 静岡県ものづくり支援センター	北川剛弘

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H28.9.30	平成28年度中部公設試験研究機関長会・研究者表彰式	愛知県産業労働センターウインクあいち	(公財)中部科学技術センター	北川剛弘
H28.10.7 H29.2.1	新成長産業戦略的育成事業推進委員会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	北川剛弘
H28.10.14 H28.12.9 H28.12.22 H29.3.2 H29.3.22	経営革新計画審査会	県庁	静岡県	田中孝彦
H28.11.25 H28.11.28 H29.1.20				杉山直人
H28.10.18	静岡県学生児童発明くふう展審査員	静岡県産業経済会館	(一社)静岡県発明協会	真野毅
H28.10.18	ユーティリティーテーブルデザイン表彰審査会	県庁	静岡県	櫻川智史
H28.10.19	静岡県科学技術表彰審査会	県庁	静岡県	北川剛弘
H28.12.2	総合食品学講座に係るカリキュラム検討部会	(公財)静岡県産業振興財団	(公財)静岡県産業振興財団	油上保
H29.1.30	総合食品学講座事業推進委員会	静岡県立大学		
H28.12.20 H29.3.9	ISO/TC213グループC国内対応委員会	(一財)日本規格協会	(一財)日本規格協会	柳原亘
H28.12.20	日本MRS	横浜開港記念館	(一社)日本MRS	菊池圭祐
H29.1.31	静岡市中小企業技術表彰専門委員会	静岡市産学交流センター	静岡市	杉山直人
H29.2.9	技術講演会	アクトシティ交流ホール	(公社)日本鑄造工学会	鈴木洋光
H29.2.23	静岡市福祉用具検討会	リハパーク静岡	静岡市	多々良哲也
H29.2.27	平成28年度地域結集型研究開発プログラム事業化推進協議会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	北川剛弘
H29.2.28	静岡県無人航空機産業推進協議会設立準備会	県庁	静岡県	杉山直人
H29.2.15 H29.2.16 H29.3.3	平成29年度地域活性化事業審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	北川剛弘
H29.3.28	敬老の日記念事業 百歳到達者の記念品選考委員会	県庁	静岡県	櫻川智史
派遣回数 98回			派遣人数(延べ) 98人	

c 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H28.4.21	静岡県創業者育成施設入居 審査委員会	県庁	静岡県	加藤公彦
H28.5.26	静岡県誉富士普及推進協議 会幹事会	ホテルシティオ静岡	静岡県誉富士普及 推進協議会	加藤公彦
H28.7.6	沼津市地域資源活用開発支 援事業補助金交付企業内定 審査会	沼津市役所	沼津市	加藤公彦
H28.7.7	富士山麓先端健康産業集積 プロジェクト事業（新産 業・新事業シーズ創出事 業）医用機器等開発テーマ 実現化会議	静岡がんセンター研 究所	(公財)静岡県産業 振興財団ファルマ バレーセンター	本多正計
H29.3.23		静岡県医療健康産業 研究開発センター		
H28.9.29	平成28年度ぬまづ技能マイ スター及びぬまづITマイ スター認定審査会	沼津商工会議所	沼津商工会議所	加藤公彦
H28.9.30 H28.10.4 H28.10.5	平成28年度名古屋国税局酒 類鑑評会 品質評価会	名古屋第二国税総合 庁舎	名古屋国税局	勝山聡
H28.12.15	平成28事務年度全国市販酒 類調査品質評価会			鈴木雅博
H28.12.16				勝山聡
H29.3.8	新酒研究会 審査委員会	グランディエール ブケ・トーカイ	静岡県杜氏研究会	勝山聡 鈴木雅博
H29.3.14	静岡県清酒鑑評会 審査委 員会	沼津工業技術支援セ ンター	静岡県酒造組合	加藤公彦 勝山聡 鈴木雅博
H29.3.14	平成28年度ふじのくに先端 医療総合特区地域協議会	静岡県医療健康産業 研究開発センター	ふじのくに先端医 療総合特区地域協 議会	八木淳一
H29.3.14	平成28年度富士山麓ファル マバレー戦略推進協議会	静岡県医療健康産業 研究開発センター	富士山麓ファルマ バレー戦略推進協 議会	八木淳一
H29.3.23	平成28酒造年度 新酒持ち 寄り技術相談会品質評価会	名古屋第二国税総合 庁舎	名古屋国税局	勝山聡
派遣回数 16 回			派遣人数(延べ) 19 人	

d 富士工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H28.4.20	静岡県紙パルプ技術協会運営委員会	ホテルグランド富士	(一社)静岡県紙パルプ技術協会	佐藤廣美
H28.5.10 H28.11.15	岳南地域地下水利用対策協議会委員・幹事合同会議	富士市役所	岳南地域地下水利用対策協議会	佐藤廣美
H28.5.11 H28.8.17 H28.12.14 H29.3.15	静岡県紙パルプ技術協会理事会	ホテルグランド富士	(一社)静岡県紙パルプ技術協会	佐藤廣美
H28.5.20 H28.6.28	木材科学委員会	紙パルプ会館	紙パルプ技術協会	佐藤廣美
H28.9.9		高知県紙産業技術センター		
H28.12.5		紙パルプ会館		深沢博之
H29.3.3				佐藤廣美
H28.5.20	富士山麓医療関連機器製造業者等交流会 運営会議	富士市役所	富士市	中山洋
H28.7.5		富士勤労者総合福祉センター ラ・ホール富士		
H28.10.11 H29.1.25		富士市役所		
H28.6.1 H28.8.18	富士ブランド推進会議	富士商工会議所	富士ブランド推進会議	佐藤廣美
H28.6.3 H28.10.11	機能紙研究会理事会	岡山国際交流センター	機能紙研究会	佐藤廣美
H28.10.11 - 12	機能紙研究会運営委員会	岐阜市じゅうろくプラザ		深沢博之
H28.6.29	産総研イノベーションコーディネータ第2回拡大技術マーケティング会議	産総研中部センター	産総研	三浦清
H28.6.29	「紙パルプの技術」編集委員会	ホテルグランド富士	(一社)静岡県紙パルプ技術協会	木野造成
H28.9.29 H28.12.15 H29.2.28				佐藤廣美 木野造成
H28.7.4 H29.3.17				助成金コーディネート

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H28.7.15	平成28年度静岡県コーディネータ交流会	静岡県男女共同参画センターあざれあ	(公財)静岡県産業振興財団	三浦清
H28.8.2 H28.11.8	富士市工業振興会議	富士市役所	富士市	佐藤廣美
H28.8.17 H29.3.1	富士市立博物館協議会	富士山かくや姫ミュージアム	富士市立博物館	佐藤廣美
H28.9.26	富士山紙フェア実行委員会	富士商工会議所	富士山紙フェア実行委員会	岡田慶雄
H28.10.19	静岡県科学技術振興表彰選考委員会	県庁	静岡県	佐藤廣美
H28.11.8	富士の特産品連携推進会議	富士市役所	富士市	佐藤廣美
H28.11.21	静岡県紙業振興大会	ホテルグランド富士	静岡県紙業振興協議会	佐藤廣美
H28.12.5 H29.2.13	富士市産業経済問題懇話会	富士商工会議所	富士商工会議所	佐藤廣美
派遣回数 39 回			派遣人数(延べ) 42 人	

産総研：(国研)産業技術総合研究所

e 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H28.4.19 H28.5.17 H28.6.21 H28.7.19 H28.9.27 H28.10.18 H28.11.15	ハママツ・ファブリック・ パフォーマーズ(HFP)定例 会	浜松商工会議所	(一社)静岡県繊維 協会	鈴木一之
H28.4.13 H28.4.18 H28.5.9 H28.5.23 H28.6.6 H28.7.4 H28.7.12 H28.8.4 H28.9.7 H28.9.26 H28.10.17 H28.10.21 H28.11.7 H28.11.30 H28.12.23 H29.1.31 H29.2.8 H29.2.27 H29.3.15	(一社)電線総合技術センタ ー 電気用品適合性評価委 員会	(一社)電線総合技術 センター	(一社)電線総合技 術センター	松田稔
H28.4.26 H28.5.17 H28.7.12 H28.9.20 H28.11.7 H29.1.24 H29.3.7	拠点事業ワーキング会議	浜松医科大学	国立大学法人浜松 医科大学	山下清光
H28.5.26 H29.3.16	拠点事業事業運営委員会	浜松商工会議所		
H28.4.18 H28.5.24	鑄造工学会 第72回世界鑄 造会議 工場見学会WG	新東工業会議室(名 古屋)		
H28.4.20 H28.6.6 H28.9.14 H28.12.20	鑄造工学会 常設研究部会 軽合金部会	東京工業大学	(公社)日本鑄造工 学会	岩澤秀
H29.2.9-10	鑄造工学会 東海支部講習 会&工場見学会	ヤマハ発動機(株) 浜北工業(株)		

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H28.5.25	平成28年度先端精密技術研究会幹事会	ヴィラくれたけ	先端精密技術研究会	長澤正
H29.1.11		浜松商工会議所会館		
H28.5.27 H28.9.20 H28.10.18 H29.1.10	静岡県創業者育成施設使用継続承認資格審査に係るヒアリング	浜松インキュベートセンター	静岡県	大川勝正 山下晶平
H28.6.6	レーザー照射による構造物鋼材表面処理の評価基準JIS原案作成委員会・分科会	光産業創成大学院大学	(一財)日本規格協会規格開発ユニット	伊藤芳典
H28.7.20		港区立男女平等参画センター		
H28.8.29		港区立男女平等参画センター		
H28.9.29		(一財)日本規格協会		
H28.10.28		港区立男女平等参画センター		
H29.1.6		(一財)日本規格協会		
H29.1.25		(一財)日本塗料検査協会東支部		
H28.6.9	しずおか夢起業推進会議	アクトシティ浜松	(公財)静岡県産業振興財団	大川勝正
H28.6.13	はままつ知財研究会	アクトシティ浜松	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	神谷真好
H29.3.14	はままつ知財研究会幹事会	(公財)浜松地域イノベーション推進機構		
H28.6.13	戦略的基盤技術高度化支援事業(テーマ:アルミ難加工材・テーパ管の一体成形加工技術の開発)研究開発推進委員会	県内企業	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	伊藤芳典
H28.8.10		静岡大学		
H28.9.26 H28.12.15		県内企業		
H28.6.29 H28.7.4 H28.11.24 H29.3.16	助成金コーディネート	県内企業	(公財)静岡県産業振興財団	大川勝正
H28.6.29 H29.3.21	浜松市公共用水域等色汚染対策協議会	浜松市保健環境研究所	浜松市公共用水域等色汚染対策協議会	鈴木一之
H28.7.8	浜松市新産業創出事業費補助事業審査会	浜松商工会議所	浜松市	神谷真好
H29.3.22		浜松市役所		
H28.7.8 H29.3.10	医工連携スタートアップ支援事業審査委員	アクトシティ浜松	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	大川勝正
H28.7.15	静岡県コーディネーター交流会	静岡県男女共同参画センター	(公財)静岡県産業振興財団	大川勝正



年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H28.7.15	ライトメタル部会第36回サ マーセミナー	工学院大学	(一社)表面技術協 会 ライトメタル 表面技術部会	田光伸也
H28.7.15	レーザー中核人材育成事業 企画委員会	浜松ホトニクス(株)	光産業創成大学院 大学	鷺坂芳弘
H28.10.21		浜松総合庁舎		植田浩安
H29.2.24				鷺坂芳弘
H28.7.25	浜松地域産業支援ネットワ ーク会議委員会	みその千とせ店	(公財)浜松地域イ ノベーション推進 機構	神谷真好
H28.8.2	国内事業化可能性調査費補 助金審査会	浜松商工会議所	(公財)浜松地域イ ノベーション推進 機構	神谷真好
H28.9.26	浜松ものづくりマイスター 選考委員会	県内企業	浜松市	神谷真好
H28.9.26		県内企業		
H28.10.19	静岡県科学技術振興表彰選 考委員会	県庁	静岡県	神谷真好
H29.1.26	静岡県創業者育成施設入居 審査委員会	県庁	静岡県	神谷真好
H29.2.3	浜松機械技術研究会役員会	やま文	浜松機械技術研究 会	神谷真好
H29.2.22	表面技術協会中部支部幹事 会・総会	名古屋市工業研究所	(一社)表面技術協 会中部支部	田光伸也
派遣回数 85 回			派遣人数(延べ) 89 人	

(ク) 産業技術連携推進会議等への派遣

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	派遣回数	延べ派遣者数
工業技術研究所	36	43
沼津工業技術支援センター	5	5
富士工業技術支援センター	8	11
浜松工業技術支援センター	21	24
合計	70	83

b 工業技術研究所の実績

年月日	会議等の名称	会場	主催	派遣者氏名
H28.6.9 -6.10	産技連 ライフサイエンス部会 デザイン分科会	サテライトキャンパスひろしま（広島県民文化センター5階）	広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター	多々良哲也 小松剛
H28.10.13 -10.14		山梨県立図書館	山梨県工業技術センター	村松重緒
H28.10.14				易強
H28.6.16	産総研 地域連携戦略予算プロジェクト「3D3プロジェクト」 地域分科会	産総研	産総研 計量標準総合センター工学計測標準研究部門	柳原亘
H28.10.11 -10.12		山梨県工業技術センター		
H29.2.7		産総研		
H29.3.6 -3.7				
H28.6.17	首都圏公設試連携推進会議 / MTEP事務局会議	埼玉県産業技術総合センター	TKF / MTEP	北川剛弘 志田英士
H29.2.10		東葛テクノプラザ		
H28.10.28	MTEP事務局会議	神奈川県産業技術センター	MTEP	志田英士
H28.7.4	産技連 東海北陸地域産技連 東海・北陸地域部会総会 合同会議	愛知県産業労働センターウインクあいち	東海北陸地域産技連、東海・北陸地域部会	北川剛弘
H28.8.1	産技連 東海・北陸地域部会機械・金属分科会シンク	あいち産業科学技術総合センター	愛知県	綿野哲寛
H29.3.24				
H28.8.8	中部イノベネット 窓口担当コーディネータ会議	ミッドランドホール	(公財)中部科学技術センター	田中孝彦
H29.2.22				
H28.9.30	中部公設試験研究機関 機関長会	愛知県産業労働センターウインクあいち	(公財)中部科学技術センター	北川剛弘
H28.9.29 -9.30	全国公設鉦工業試験研究機関 事務連絡会議	ホテルテラスザガーデン水戸・J-PARC	茨城県工業技術センター	川北周吾

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H28.10.3	関東甲信越静地域産技術連 /産技連 関東甲信越静地 域部会総会・製造技術分科 会	ベルクラシック甲府	産技連 関東甲信 越静地域部会 関東経済産業局 産総研	北川剛弘
H28.10.6	産技連 ナノテクノロジ ー・材料部会 第10回木質科学分科会	アイリス愛知	産技連 ナノテク ノロジー・材料部 会木質科学分科会	櫻川智史 赤堀篤
H28.10.27	産技連 製造プロセス部会 塗装工学分科会	ホルトホール大分	産技連 製造プロ セス部会塗装工学 分科会	赤堀篤
H28.11.1	全国食品技術研究会	つくば国際会議場	農研機構食品研究 部門	油上保
H28.11.7 -11.8	中部地区公設試デジタルも のづくり関連研究会	石川県工業試験場	中部経済産業局	志智亘
H28.12.15 -12.16		あいち産業科学技術 総合センター		
H29.2.27				
H28.11.17 -11.18	産技連 ナノテクノロジ ー・材料部会 高分子分科会	サンラポーむらくも	産技連 ナノテク ノロジー・材料部 会高分子分科会	田中翔悟
H28.11.25	平成26年度地域オープンイ ノベーション促進事業（航 空）に係る連絡委員会（第 4回）	あいち産業科学技術 総合センター産業技 術センター	あいち産業科学技 術総合センター	田中孝彦
H28.11.28	全国公設鋳工業試験研究機 関事務連絡会議 関東甲信 越静ブロック会議	千葉県産業支援技術 研究所 天台庁舎	千葉県産業支援技 術研究所	及川貴康 一瀬将平
H28.11.30 -12.2	産技連 知的基盤部会総 会、計測分科会、光放射計 測研究会	サンポートホール高 松	産技連 知的基盤 部会	志智 亘 豊田敏裕 柳原亘
H29.1.19	MTEP-RoHSパートナーグル ープ会議	(地独)東京都立産業 技術研究センター	MTEP	岡本哲志
H29.1.31 -2.1	産総研・産技連LS-BT合同 研究発表会	産総研	産技連	袴田雅俊
H29.2.1	産技連 関東甲信越静地域 部会 食品・バイオ分科会	産総研	産技連	袴田雅俊
H29.2.10	地域新成長産業創出促進事 業補助金採択事業に係る4 県連絡委員会	東葛テクノプラザ	長野県工業技術総 合センター	志田英士
H29.2.14 -2.15	産技連 環境エネルギー部 会・分科会・研究会合同総 会	(地独)東京都立産業 技術研究センター	産技連 環境エネ ルギー部会	杉本芳邦
H29.2.14 -2.15	産技連 製造プロセス部会 総会	産総研つくばセンタ ー	産技連 ナノテク ノロジー・材料部 会、製造プロセス 部会	田中翔悟
H29.2.16	全国食品関係試験研究場所 長会 総会	つくば国際会議場	全国食品関係試験 研究場所長会	浅沼俊倫

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H29.2.16 -2.17	食品試験研究推進会議	つくば国際会議場	農研機構食品研究部門	浅沼俊倫
H29.2.24	産技連 総会	トラストシティ カンファレンス・丸の内	産総研 イノベーション推進本部 地域連携推進部	北川剛弘
派遣回数 36回			派遣人数(延べ) 43人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議  
産総研：(国研)産業技術総合研究所  
農研機構：(国研)農業・食品産業技術総合研究機構  
TKF：首都圏テクノナレッジフリーウェイ  
MTEP：広域首都圏輸出製品技術支援センター

c 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H28.7.4	産技連 東海北陸地域産技連 東海・北陸地域部会総会 合同会議	愛知県産業労働センターウインクあいち	東海北陸地域産技連、東海・北陸地域部会	加藤公彦
H28.9.30	中部公設試験研究機関 機関長会	愛知県産業労働センターウインクあいち	(公財)中部科学技術センター	加藤公彦
H28.10.3 -10.4	関東甲信越静地域産技連 / 産技連 関東甲信越静地域部会総会・製造技術分科会	ベルクラシック甲府	関東経済産業局 産総研イノベーション推進本部 地域連携推進部	加藤公彦
H29.2.1	産技連第49回関東甲信越静地域部会 食品・バイオ部会	産総研つくばセンター	産技連関東甲信越静地域部会 食品・バイオ部会	太田俊也
H29.2.24	産技連 総会	トラストシティ カンファレンス・丸の内	産技連	加藤公彦
派遣回数 5回			派遣人数(延べ) 5人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議  
産総研：(国研)産業技術総合研究所

d 富士工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H28.7.4	産技連 東海北陸地域産技連 東海・北陸地域部会総会 合同会議	愛知県産業労働センターウインクあいち	東海北陸地域産技連、東海・北陸地域部会	佐藤廣美
H28.9.30	中部公設研究機関 機関長会議	愛知県産業労働センターウインクあいち	中部科学技術センター	佐藤廣美
H28.10.3	産技連 関東甲信越静地域部会総会・製造技術分科会	ベルクラシック甲府	産技連 関東甲信越静地域部会	佐藤廣美
H28.11.10 -11.11	産技連 紙パルプ分科会若手研究員研修会	高知県紙産業技術センター紙業部	産技連 ナノテクノロジー・材料部会 紙パルプ分科会	白井圭 山口智久
H28.11.24 -11.25	産技連 ナノテクノロジー・材料部会紙・パルプ分科会	鳥取県産業技術センター	産技連 ナノテクノロジー・材料部会紙・パルプ分科会	佐藤廣美 深沢博之 齊藤将人
H28.12.12	産技連 紙パルプ分科会ナノセルロース研究会	兵庫県立工業技術センター	産技連 紙パルプ分科会ナノセルロース研究会	白井圭
H29.2.24	産技連 総会	トラスシティカンファレンス・丸の内	産総研	佐藤廣美
H29.2.14 -2.15	産技連 ナノテクノロジー・材料部会分科会	産総研つくばセンター	産総研	佐藤廣美
派遣回数 8 回			派遣人数(延べ) 11 人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議  
産総研：(国研)産業技術総合研究所

e 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H28.5.12	産技連 ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 東海地域連絡会総会	浜松工業技術支援センター	産技連 ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 東海地域連絡会	神谷真好 鈴木一之 鈴木悠介
H28.6.21	産総研 地域連携戦略予算プロジェクト「3D3 プロジェクト」 研究会委員 東分科会	産総研臨海副都心センター	産総研	大澤洋文
H28.10.11 -10.12		山梨県工業技術センター		
H29.2.7		埼玉県産業総合センター		
H28.12.1	産総研 地域連携戦略予算プロジェクト「3D3 プロジェクト」研究会委員 全体会議	サンポートホール高松	産総研	
H29.3.6 -3.7		産総研		

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H28.6.22	産技連 製造プロセス部会 3Dものづくり特別分科会	(地独)東京都立産業 技術研究センター	産技連 製造プロ セス部会 3Dも のづくり分科会	大澤洋文
H28.6.28	中部イノベネット運営委員 会	安保ホール	中部イノベネット	神谷真好
H28.6.30	産技連 ナノテクノロジ ー・材料部会 繊維分科会 総会	ア・ミュールホール	産技連 ナノテク ノロジー・材料部 会 繊維分科会	神谷真好
H28.7.4	産技連 東海北陸地域産技 連 東海・北陸地域部会総 会 合同会議	愛知県産業労働セン ターウインクあいち	東海北陸地域産技 連、東海・北陸地 域部会	神谷真好
H28.9.2	産技連 知的基盤部会 電 磁環境分科会 / 関東甲信越 静EMC研究交流会	新潟県工業技術総合 研究所	新潟県工業技術総 合研究所	山田浩文
H28.9.2	MTEPパートナーシップグル ープ会	新潟県工業技術総合 研究所	新潟県工業技術総 合研究所	山田浩文
H28.9.30	中部公設試験研究機関 機 関長会	ウインクあいち	中部科学技術セン ター	神谷真好
H28.10.3	産技連 関東甲信越静地域 部会	ベルクラシック甲府	産技連 関東甲信 越静地域部会	神谷真好
H28.11.7 -11.8	中部地区公設試デジタルも のづくり関連研究会	石川県工業試験場、 (株)ソディック加賀 工場	中部経済産業局	伊藤芳典
H29.2.27		名古屋市工業研究所		
H28.11.10 -11.11	産技連 知的基盤部会 電 磁環境分科会 / EMC研究会	くにびきメッセ、 テクノアークしまね	島根県産業技術セ ンター	山田浩文
H28.11.30 -12.1	産技連 知的基盤部会 計 測分科会 形状計測研究会	サンポートホール高 松	産技連 知的基盤 部会 計測分科会 形状計測研究会	大澤洋文
H28.12.9	産技連 ナノテクノロジ ー・材料部会 繊維分科会 東海地域連絡会 繊維技 術研究会	三河繊維技術センタ ー	産技連 ナノテク ノロジー・材料部 会 繊維分科会 東海地域連絡会	鈴木一之 森田達弥
H29.1.26	産技連 ナノテクノロジ ー・材料部会繊維分科会幹 事会	(地独)東京都産業技 術研究センター多摩 テクノプラザ	産技連 繊維分科 会	神谷真好
H29.2.24	産技連 総会	トラストシティ丸の 内	産技連	神谷真好
派遣回数 21回			派遣人数(延べ) 24人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議  
産総研：(国研)産総研  
MTEP：広域首都圏輸出製品技術支援センター

(ケ) 学会等への発表、外部発行誌等への投稿及び展示会への出展

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	学会等発表 回数 (ポスター 発表含む)	学会誌 等投稿	一般誌 投稿	展示会 出展
工業技術研究所	29	3	1	5
沼津工業技術 支援センター	6	0	0	3
富士工業技術 支援センター	1	1	4	6
浜松工業技術 支援センター	11	6	1	14
合計	47	10	6	28

b 工業技術研究所の実績 ( はポスター発表)

年月日	項目	発表会名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
H28.5.23	Error factors of the total luminous flux measurement of the surface light sources with integrating sphere	the 15th International symposium on the science and technology of lighting	Proceedings of the 15 <sup>th</sup> International symposium on the science and technology of lighting	鈴木敬明
H28.5.27	湿式メタン発酵のための固形食品廃棄物の前処理	平成28年度廃棄物資源循環学会春の研究発表会		中島大介
H28.6.5	探索応答時間と一対比較選択率による浴室手摺色選択のための色視認性評価	日本色彩学会第47回全国大会[名古屋]'16	日本色彩学会誌, Vol.40, No.3	鈴木敬明 豊田敏裕
H28.6.9	人間中心設計に基づくユニバーサルデザイン(UD)・福祉製品開発とCAD/CGを利用したプロダクト・グラフィックデザイン開発を支援	産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 第19回デザイン分科会		多々良哲也
H28.6.10	顕微FT-IRイメージング法による高分子フィルムの化学修飾深度解析	平成28年度繊維学会年次大会		菅野尚子

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
H28.6.24 -6.26	介護動作の教育支援に向けた現場調査及び腰の筋負担評価用筋電センサの開発	日本人間工学会第57回大会		易強 小松剛 村松重緒
H28.8.26	静岡県工業技術研究所におけるお茶に関する研究事例	日本食品科学工学会第63回大会シンポジウム		渡瀬隆也
H28.9.15	麹菌によるコーヒーかすの資化性	第37回日本食品微生物学会		櫻川智史
H28.9.16	多孔質材料中の計測した音速とJCAモデルの予測値の比較 その2	日本音響学会2016年秋季研究発表会	日本音響学会2016年秋季研究発表会講演論文集	木野直樹
H28.9.23	静岡県内の微生物を用いた発酵食品の開発			袴田雅俊
H28.9.23	白葉茶を用いた高級RTD飲料の開発	第245回食品技術研修会「シーズ&ニーズビジネスマッチング研究発表会」		浅沼俊倫
H28.9.23	油脂分解微生物の探索と食品廃棄物のメタン発酵への応用			室伏敬太
H28.10.13	介護動作時の筋負担を可視化する教育指導支援システムの開発 現場調査	産技連 ライフサイエンス部会 第20回デザイン分科会		易強 小松剛 村松重緒
H28.10.13	デザイン支援事例			村松重緒
H28.10.27	過熱水蒸気炭化炉により作成した竹活性炭の電気二重層キャパシタ特性	日本木材学会中部支部大会		菊池圭祐 櫻川智史
H28.10.28	食品廃棄物のメタン発酵処理によるエネルギー回収と発酵残渣液の有効利用	TKFオープンフォーラム		太田良和弘
H28.10.28	油脂分解微生物の探索と食品廃棄物のメタン発酵への応用	TKFオープンフォーラム		室伏敬太
H28.11.17	CFRTPの炭素繊維重量含有率測定方法の検討	産技連ナノテクノロジー・材料部会 第54回高分子分科会		田中翔悟
H28.12.8	酸処理を施したコーヒー抽出残渣から作製した活性炭の細孔構造	第43回炭素材料学会		菊池圭祐 山下里恵 櫻川智史



年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
H28.12.9	セルロースナノファイバーを添加したポリビニルアルコールの動的粘弾性	日本接着学会中部支部第15回産官学接着若手フォーラム		前田研司 石橋佳奈 櫻川智史
H28.12.9	高耐熱性水性高分子-イソシアネート系接着剤の開発 - PVA-pMDI接着剤へのCNFの添加効果 -			前田研司 石橋佳奈 櫻川智史
H28.12.20	過熱水蒸気炭化-賦活炉による未利用バイオマスからの活性炭製造	第26回日本MRS年次大会		菊池圭祐 櫻川智史
H29.1.11	静岡県内の微生物を用いた発酵食品の開発	ふじのくに総合食品開発（静岡県試験研究機関研究成果発表）		袴田雅俊
H29.1.18	湿式メタン発酵のための微生物前処理における諸条件の検討	第12回バイオマス科学会議		中島大介
H29.3.16	油脂分解微生物の探索と食品廃棄物のメタン発酵への応用	第51回日本水環境学会年会		室伏敬太
H29.3.16	スギ・ヒノキへのホウ酸系防腐防蟻剤浸漬処理後の拡散浸透	第67回日本木材学会大会		赤堀篤 藤浪健二郎 渡邊雅之 櫻川智史
H29.3.17	セルロースナノファイバを添加したポリ酢酸ビニルの物性評価			前田研司 石橋佳奈 櫻川智史
H29.3.17	スリット構造と吸音材を組み合わせた木質パネルの吸音効果			櫻川智史 油上保 木野直樹
H28.6.24 -26	介護動作の教育支援に向けた現場調査及び腰の筋負担評価用筋電センサの開発	日本人間工学会第57回大会		易強 小松剛 村松重緒
学会誌及び専門誌への投稿				
H28.12.31	茶業研究報告		中国茶の含水率と水分活性	渡瀬隆也

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会誌及び専門誌への投稿				
H29.1.17	Journal of Orthopaedic Surgery and Research (2017) 12:7		Comparison of compressive forces caused by various cannulated cancellous screws used in arthroscopic ankle arthrodesis	真野毅 田中翔悟
H29.3.25	日本木材学会誌		国産材を使用した木造施設における室内空気質の形成	山下里恵 櫻川智史
一般誌等への投稿				
H28.5.28	緑茶の香りの医療現場での応用		アロマリサーチ	池ヶ谷篤 <sup>1</sup> 油上保
展示会への出展				
H28.5.24 -5.27	静岡発！食品系バイオマス利活用のご紹介	2016NEW環境展		太田良和弘
H28.5.27	静岡発！食品系バイオマス利活用のご紹介	2016NEW環境展		櫻川智史 山下里恵 菊池圭祐
H28.6.1 -6.3	”森林の都”を実現する県産材の需要と供給の拡大のための技術開発	シズオカKAGUメッセ2016		赤堀篤 藤浪健二郎 渡邊雅之 櫻川智史
H28.6.9	人間中心設計に基づくユニバーサルデザイン（UD）・福祉製品開発とCAD/CGを利用したプロダクト・グラフィックデザイン開発を支援	産技連 ライフサイエンス部会 第19回デザイン分科会		多々良哲也
H28.6.10	新成長戦略研究（機能性）の取り組み、食品開発に役立つ機器・設備の紹介	「機能性表示食品」最先端セミナー		油上保 松野正幸 三宅健司 袴田雅俊
合計件数 38 件		学会等発表 29 件・投稿等 4 件・展示会 5 件		

1 掲載時は農林技術研究所

産技連：産業技術連携推進会議

c 沼津工業技術支援センターの実績（ はポスター発表）

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
H28.9.14	ラバーハンドイリュージョンの視覚刺激パターンの変更による運動錯覚の鮮明さの相違	第21回日本バーチャルリアリティ学会大会		本多正計
H28.9.23	生菌群集解析手法（EMA-PCR-DGGE）の開発	シーズ&ニーズビジネスマッチング研究発表会		高木啓詞
H28.9.30	化学材料の加工技術、分析・評価技術による中小企業の技術力向上支援	中部公設試験研究機関研究者表彰受賞記念講演会		八木淳一
H29.1.20	水素吸蔵合金アクチュエータを用いた褥瘡・医療関連機器圧迫創傷予防システムの提案	つくば医工連携フォーラム2017		本多正計
H29.3.4	Trichoderma属接種によるトマトの生育促進効果	第19回化学工学会学生発表会		太田俊也 飯塚千佳世 高木啓詞
H29.3.17 -20	地域連携事業の事例 公設試との連携事業（公設試との連携及びNBRCの技術活用）	日本農芸化学会2017年度京都大会		高木啓詞
学会誌及び専門誌への投稿				
実績なし				
一般誌等への投稿				
実績なし				
展示会への出展				
H28.12.5	生菌群集解析手法（EMA-PCR-DGGE）の開発	東部テクノフォーラム in 沼津高専		高木啓詞
H29.1.11	食の都しずおかの微生物を用いた新しい発酵食品ビジネスの創出	ふじのくに総合食品開発2017		岩原健二 勝山聡
H29.2.16	食の都しずおかの微生物を用いた新しい発酵食品ビジネスの創出	富士山麓産学官金連携フォーラム2017		岩原健二 勝山聡 鈴木雅博
合計件数 9 件		学会等発表 6 件・投稿等 0 件・展示会 3 件		

d 富士工業技術支援センターの実績（ はポスター発表）

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
H28.10.12	セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化	第54回機能紙研究発表・講演会		齊藤将人
学会誌及び専門誌への投稿				
H29.3.1	近赤外分光法を用いた紙中の木材パルプの複合的評価手法の開発 Development of Multiple Evaluation Method of Wood Pulp in Paper by Near Infrared Spectroscopy		紙パ技協紙71(3)、pp 92-108	深沢博之 河部千香 <sup>1</sup>
一般誌等への投稿				
H28.7.25	富士工業技術支援センターの取り組み		紙パルプの技術	佐藤廣美
	ドライトナー印刷物の古紙原料への混入の影響評価			深沢博之 山口智久 木野浩成
	トイレットペーパーのクレープ形状がやわらかさに与える影響			鈴木悠介 <sup>2</sup> 深沢博之 木野浩成
	ガラス繊維のシート化について			深沢博之 河部千香 <sup>1</sup>
展示会への出展				
H28.7.13 -7.15	見守りシステムの開発	国際モダンホスピタル ショウ2016		中山洋 井出達樹
H28.7.21	非粘着コーティング技術	ビジネスマッチングフ ェア i n 浜松2016		高木誠
H28.10.6	見守りシステムの開発	シーテックジャパン20 16		中山洋
H28.10.12 -14	見守りシステムの開発	国際福祉機器展2016		中山洋
H28.11.15	見守りシステムの開発	御殿場・裾野ビジネス 交流会		三浦清 岡田慶雄
H28.11.29	見守りシステムの開発	静岡理科大学地域創 成フォーラム		中山洋
合計件数 12 件		学会等発表 1 件・投稿等 5 件・展示会 6 件		

1 掲載時は経済産業部 商工業局 地域産業課

2 掲載時は浜松工業技術支援センター

e 浜松工業技術支援センターの実績（ はポスター発表）

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
H28.5.19	Accuracy improvement of microparts bending by femtosecond laser peen forming	The second smart laser processing conference (SLPC2016)		鷺坂芳弘 植田浩安 山下清光
H28.5.21	超短パルスレーザーピーンフォーミングにおけるパルスの照射ピッチの影響（第二報 材質による変形特性の変化）	平成28年度塑性加工春季講演会		鷺坂芳弘
H28.6.9	塗装膜上に形成された偏光方向に平行なナノ周期構造	第85回レーザ加工学会講演会		鷺坂芳弘
H28.9.7	健康・医療産業用プラスチック製品へのレーザ加工の応用	2016年度精密工学会秋季大会学術講演会		鷺坂芳弘 植田浩安 山下清光
H28.9.8	超短パルスレーザーピーンフォーミングにおける照射痕のオーバーラップの影響（第3報）	2016年度精密工学会秋季大会学術講演会		鷺坂芳弘
H28.10.21	超短パルスレーザーピーンフォーミングにおけるパルスの照射ピッチの影響（第三報 走査速度による効率向上）	第67回塑性加工連合講演会		鷺坂芳弘
H28.11.15	Combimed Process of Cutting and Laser Peen Forming with Femtosecond Laser	International Conference on Precision Engineering (ICPE2016)		鷺坂芳弘
H28.11.20	超短パルスレーザーの微細成形技術を用いたPCD小径エンドミルの開発	第17回国際工作機械技術者会議（IMEC）ポスターセッション		山下清光
H28.12.9	UDテープを基材としたCFRT P成形技術の開発	第30回東海支部若手繊維研究会		山崎利樹
H28.12.12	走査方法によるフェムト秒レーザーピーンフォーミングの曲げ効率の向上	第86回レーザ加工学会講演会		鷺坂芳弘

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
H29.3.13	超短パルスレーザーピーンフォーミングにおける照射痕のオーバーラップの影響(第4報)	2017年度精密工学会春季大会学術講演会		鷺坂芳弘
学会誌及び専門誌への投稿				
H28.5.25	アルミニウム合金の冷間鍛造における環境対応型潤滑剤の性能評価		塑性と加工	鷺坂芳弘
H28.7.14	Fabrication of High Strength Ti Alloy Compacts by Metal Injection Molding		粉体および粉末冶金 第63巻第7号438-444	伊藤芳典
H28.11	精密位置決め装置のボールねじ熱膨張のペルチェモジュール冷却による防止		精密工学会誌2016年11月号	大澤洋文
H29.1	環境対応型2液2層型冷間鍛造用潤滑剤の特徴と処理方法		塑性と加工	鷺坂芳弘
H29.2.1	【特集】<公設試(その1)> 静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター		繊維学会誌 Vol.73 (2017) 2 P84-85	鈴木一之
一般誌等への投稿				
H28.10.24	超短パルスレーザーピーンフォーミングによる微細部品成形		素形材	鷺坂芳弘
展示会への出展				
H28.4.20 -4.22	レーザーで眼鏡レンズの染色を実現 レーザーピーンフォーミング	Medtec2016		植田浩安 山下清光 鷺坂芳弘
H28.6.17 -6.18	チタン製マウスピース、チタン加工技術パンフ、センター紹介パンフ	ものづくり博2016in東三河		伊藤芳典 吉岡正行 山下晶平
H28.6.22 -6.24	電鑄パイプ等	第7回医療機器開発・製造展		吉岡正行
H28.7.2 -7.3	ゆかた試作品(縫製ゆかた1点)、コール天試作品6点、パネル2枚	注染・ゆかた・和装展		鈴木一之 鈴木悠介 森田達弥 山崎利樹
H28.7.20	レーザー染色による眼鏡レンズ、マイクロカテーテル用超精密・貴金属パイプ等	ビジネスマッチングフェアはままつ2016		植田浩安 山下晶平 田光伸也

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
展示会への出展				
H28.8.25 -26	眼鏡プラスチックレンズの レーザー染色装置の開発	JSTフェア2016		植田浩安
H28.10.19 -21	ダイカストを超えた新工法	ものづくりマッチング ジャパン2016		岩澤秀
H28.10.29	ポスター(布製15枚)、手機 織機、製紐機	第9回綿の産地フェア		繊維高分子材料 科
H28.11.11 -12	レーザー染色による眼鏡レ ンズ、レーザーピーンフォ ーミング、食品分野におけ る異物分析、電鍍パイプ等	第6回いわた産業振興 フェア		神谷真好 大川勝正 植田浩安 山下清光 鷺坂芳弘 吉岡正行 山下晶平
H28.12.2 -3	機器(3Dプリンター)の 紹介	湖西Neoテクノフェア ビジネスマッチング20 16		大川勝正 山下晶平
H28.12.5	レーザー染色による眼鏡レ ンズ、手機織機(実演)	第3回浜名チャレンジ マッチングフェア		山下晶平 鈴木悠介
H28.12.15	レーザー染色による眼鏡レ ンズ、レーザーピーンフォ ーミング	浜名商工会		植田浩安 山下清光 鷺坂芳弘
H29.1.18 -20	電鍍パイプ等	第46回インターネプコ ン		田光伸也
H29.2.16	電鍍パイプ等	富士山麓産学官全連携 フォーラム2017		山下晶平
合計件数 32 件		学会等発表 11 件・投稿等 7 件・展示会 14 件		

平成28年度 試験研究成果一覽表

工業技術研究所 区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 委託 単独 共同 の別	研究期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び 普及等の状況	備考
新成長戦略研究事業	分散型エネルギー社会に貢献する小型メタン発酵プラントの開発	終了	共同	H26 ~ H28	県内の食品製造企業等が、食品廃棄物をリサイクルするのを支援するため、廃棄物の排出規模に適する安価な小型メタン発酵プラントを開発し、分散型エネルギー社会と物質循環型社会の構築を目指す。	共同研究につき公表を控えま す。	共同研究につき公表を控えま す。	企業1社 研究開発課 農林技術研究所 畜産技術研究所 水産技術研究所
新成長戦略研究事業	“森林の都”を実現する県産材の需要と供給の拡大のための技術開発	終了	共同	H26 ~ H28	本県の人工林資源は、約8割が活用可能な林齢となっている。そこで、木材生産量を50万m3まで増進する目標を掲げ、ニーズに応じた新たな木製品の開発と、原木を効率的に安定供給する技術の開発を行う。	共同研究につき公表を控えま す。	共同研究につき公表を控えま す。	農林技術研究所 森 林・林業研究センタ ー 企業2社 静岡大学
新成長戦略研究事業	次世代照明用部品の総合開発・評価に関する研究	継続	共同	H27 ~ H29	県内企業の次世代ヘッドランプ用樹脂光学部品市場への参入と、樹脂光学部品産業の集積化を最終目的とし、次世代樹脂光学部品とそれを組み合わせた照明モジュールに要求される設計・製造・評価技術を確立する。	共同研究につき公表を控えま す。	共同研究につき公表を控えま す。	企業2社



新成長戦略各研究事業	食の都しずおかの微生物を用いた新しい発酵食品ビジネスの創出	継続	共同	H27 ～ H29	県内自然界等から微生物を収集し、広く利用可能な微生物ライブラリーを作成する。さらに醤油醸造に活用可能な微生物を選抜し、微生物を制御した醤油醸造技術を確立するとともに、醤油の香味向上を目指す。	共同研究につき公表を控えま	共同研究につき公表を控えま	企業1社 研究開発課 農林技術研究所 畜産技術研究所 水産技術研究所 環境衛生科学研究所
新成長戦略各研究事業	健康長寿静岡の新たな発酵性食品産業の創出	継続	単独	H28 ～ H30	平成27年4月に国の発酵性表示食品制度が施行され、発酵性食品の市場が広がっている。生果として初めて受理された三ヶ日みかんを活用した商品を開発することで、県内食品市場の更なる活性化を後押しする。	共同研究につき公表を控えま	共同研究につき公表を控えま	企業1社 団体1組織
新成長戦略各研究事業	セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化	新規	単独	H28 ～ H30	セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化を目的とし、ONFの物性調査と紙への応用、ONFの特性を活かした塗料・接着剤の開発、等の課題に取り組む。	分散・混練技術の検討、接着剤樹脂分の強度特性評価手法の確立、ONFを添加した接着剤の強度特性の評価について実施。高強度の接着剤が開発できる可能性を見出した。	塗料や樹脂等に展開を図る。県内企業を訪問し、ONFに関する情報を提供する。また、講習会、展示会を通じて成果を普及する。	富士工業技術支援センター、商工展覧課
新成長戦略各研究事業 チャレンジ研究	ONFを応用した新規アロマ化粧品素材の開発	終了	単独	H28	セルロースナノファイバー（ONF）と県産の天然香料を組合せた「香りの徐放性」と「肌への保湿性」を有する新たな化粧品素材の開発を目的とする。	ONFを添加したモデル化粧品は、ヒアルロン酸添加の化粧品より高保湿であり、また使用感、香りの徐放性もより向上することが分かった。この3点からONFが化粧品素材として有利であることを明らかにした。	講習会、展示会を通じて成果を普及した。また、ONF入り化粧品の商品化を目指している。現在香りの徐放性については試着申請を予定している。	協力企業1社
新成長戦略各研究事業	ドイツ・フ라운ホーファー研究機構と静岡県の協力関係の強化及び静岡県企業との連携推進	終了	単独	H28	フ라운ホーファー研究機構の事業運営、研究マネージメント、人材育成等に関する調査を行う。 また、フ라운ホーファー各研究所の研究内容とドイツの産業クラスターを調査し、県内企業とのマッチングを図る。	フ라운ホーファー研究機構の事業運営、研究マネージメントについては、今後の当研究所運営の参考とする。県内企業とドイツの研究機関、企業との連携については今回得られた知見を交えて引き続き支援していく。	緊急対応研究費 研究開発課	

<p>単独研究事業</p> <p>業務</p> <p>研究費 挑戦的萌芽研究(学振)</p>	<p>筋負担の簡易測定法の開発 - 製品開発現場での利用に向けて-</p>	<p>継続</p>	<p>単独</p>	<p>H27 ~ H29</p>	<p>介護教育現場での介護動作の実技は、テキストや模範動作ビデオの視聴をベースとして、教員の知識や経験に基づき指導されているのが現状である。</p>	<p>本開発システム用の筋電、姿勢のハイブリッドセンサの1次試作品を完成させた。</p>	<p>今後は、実際に腰部に付けて測定を行い、既存の計測システムで測定したデータと比較検証し、その妥当性を検証し、製品化に近づけるため2次試作へと進めていく。</p>	<p>協力企業1社</p>
<p>単独研究事業</p> <p>業務</p> <p>研究費 挑戦的萌芽研究(学振)</p>	<p>冷涼感を有する県産の香り探索と新規アロマ製品の開発</p>	<p>継続</p>	<p>単独</p>	<p>H26 ~ H29</p>	<p>冷涼感作用を有する、柑橘をはじめとする県産の香りを見出し、素材化する。また、これを基に、県内の化成品メーカーと共同で新たなアロマ製品を開発・提案し、市場開拓を図る。</p>	<p>県産柑橘の果皮油の香りに、冷涼感に関わるヒト受容体(TRP)への作用活性を見出し、その香りの構成成分のうち、冷涼化剤に適した特性を持つ成分を特定した。</p>	<p>研究成果を基に、冷涼感に係るヒト試験系の構築に至った。</p>	<p>協力企業1社</p>
<p>単独研究事業</p> <p>業務</p> <p>研究費 若手研究(B)(学振)</p>	<p>バイオマス由来活性炭を用いた電気二重層キャパシタの量産化</p>	<p>継続</p>	<p>単独</p>	<p>H26 ~ H29</p>	<p>県内で大量に廃棄されているコーヒーカーズを原料とした活性炭開発を行い、電気二重層キャパシタ(EDLC)へ応用する。これらを実機スケールで行い、量産化体制を築く。</p>	<p>コーヒーカーズ活性炭の蓄電能力を向上させるため、原料の改良を行った。比表面積を向上させることができた。また細孔径が拡大し、吸着可能な物質の範囲が広がった。</p>	<p>得られた知見は、高い比表面積や特徴的な細孔径を活かしたものがづくりに活かしていく。</p>	<p>協力企業2社</p>
<p>一般共同研究事業</p>	<p>レーザー皮膜によるダイカスト金型の長寿命化技術の開発</p>	<p>終了</p>	<p>共同</p>	<p>H26 ~ H28</p>	<p>ダイカスト金型の焼付き対策は、成形時間の短縮化が求められる中で、多くのダイカストメーカーの課題となっている。そこで、金型の表面を温度制御することを目指し、金型への皮膜処理法の開発を行う。</p>	<p>共同研究につき公表を控えま</p>	<p>共同研究につき公表を控え</p>	<p>企業1社</p>
<p>一般共同研究事業</p>	<p>赤外線分析技術を活用した樹脂製品の検査工程の高度化</p>	<p>終了</p>	<p>共同</p>	<p>H27 ~ H28</p>	<p>樹脂内部の検査は難しく、製造現場では、検査コストの負担や歩留まり低下が問題となっている。そこで、検査対象の物性に合わせた赤外線波長を選択することにより、安価で導入しやすい赤外線検査技術を開発する。</p>	<p>共同研究につき公表を控え</p>	<p>共同研究につき公表を控え</p>	<p>企業2社 静岡大学</p>

一般共同研究 事業	無線・自立型センサモジュールの開発 発・風力発電機監視システムへの応用	終了	共同	H26 ～ H28	データ収集のために狭い空間へ自由に設置でき、設置後のメンテナンスが不要なセンサモジュールを開発する。小型軽量・無線化により設置自由度向上を図り、環境発電等の活用で独自電源を有した自立動作を実現する。	共同研究につき公表を控えません。	共同研究につき公表を控えません。	企業1社
一般共同研究 事業	マットレス設計における身体部分質量推定手法の確立	継続	共同	H28 ～ H29	オーダーメイドマットレス事業では、多種多様な体型に対応できる設計手法の確立が必須である。本研究では、体型に応じて設計変更可能なマットレス構造と、接触部ごとに異なる素材を配置する設計手法を確立する。	共同研究につき公表を控えません。	共同研究につき公表を控えません。	企業1社 (国研理化学研究所)
一般共同研究 事業	オーディオスピーカーの研究開発	継続	共同	H28 ～ H30	ハイレゾリューションのアナログレコーダのブームから、原音を高い解像度で再現する高級オーディオスピーカーへのニーズが高まっている。そうした中、県内企業から要望があったオーディオスピーカー用の吸音材料を開発する。	共同研究につき公表を控えません。	共同研究につき公表を控えません。	企業2社
一般共同研究 事業	静岡発 世界を結ぶ新世代茶飲料と素材の開発(地域結集事業 フェーズ)	終了	共同	H20 ～ H28	茶の価値を向上させ、県内食品産業や関連産業の振興を図るとともに、世界標準の飲料や素材の全世界への提供や科学的な効果の解明を通じ、産業や科学技術の振興に貢献する。	共同研究につき公表を控えません。	共同研究につき公表を控えません。	企業2社

一般共同研究 事業 地方創生加速 化交付金（内 閣府）	静岡県健康長寿モデル構築のためのレシビ及び高機能型食品開発	継続	単独	H28 ～ H31	県産食材を活用して生活習慣病予防を旨とした食生活に寄与する食事メニュー（食改善レシビ）開発を行う「静岡県健康長寿モデル構築のためのレシビ及び高機能型食品開発」事業の推進。	共同研究につき公表を控えません。	共同研究につき公表を控えません。	企業1社 （静岡県立大学：レシビ開発委託）
一般共同研究 事業	食品加工バンドン一用の安全強化グロープの開発	継続	共同	H28 ～ H29	食品加工機械による死傷災害（休業4日以上）は年間2,000件以上で、他の産業用機械と比べて特に多い。安全対策のひとつとして食品加工バンドン専用グロープを開発する。	共同研究につき公表を控えません。	共同研究につき公表を控えません。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 中小企業・小規模事業者のづくり・商業・サービス革新事業（総務省）	低コスト小規模バイオマス発電システム用ガス化炉の開発	終了	受託	H27 ～ H28	国内における再生エネルギー固定価格買取制度の導入を受け、農業由来バイオマスの高度利用を目的として、低コスト小規模発電システム用のガス化炉（ベンチテスト機）を試作開発する。	共同研究につき公表を控えません。	共同研究につき公表を控えません。	企業1社 静岡県立大学
受託研究（競争的資金による研究） 産学官連携研究開発(財団)	無電解ニッケルめっき代替を旨とした新規フォームめっき技術の開発	終了	受託	H28	無電解ニッケルめっきの代替を旨して流動フォーム電解質を用いた電気ニッケルめっきの研究開発を行う。さらに、自動車メーカーからの強い要望により高硬度膜の機能付与も検討する。	受託研究につき公表を控えません。	受託研究につき公表を控えません。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 産学官連携研究開発(財団)	静岡県産釜揚げシラスのためのパイロットスケール殺菌装置の開発	継続	受託	H28 ～ H29	釜揚げシラスのおいしさを損なうことなく長期保存可能にする新規殺菌方法の安全性を検証するとともに、スケールアップ時の影響評価から実用規模装置の設計・作製を行ない、実用上の性能を評価する。	受託研究につき公表を控えません。	受託研究につき公表を控えません。	企業1社

受託研究（競争的資金による研究） 靴類の縫製技術 高度化支援事業 （総産官）	農林業のニーズに応える小型・低コストバイオマスガス化発電システムの開発 の調査	継続	受託	H28 ～ H30	農業残渣を原料とする小規模・低コストバイオマスガス化発電システムを開発する。新方式の攪拌技術の採用により、ガス化の高速化及び多種バイオマスの活用を目指し、200㌦屋外仕様発電ユニットを事業化する。	受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	企業1社 静岡大学
受託研究（競争的資金以外の研究）	柑橘類ヨーグルトソース開発のための成分分析	終了	受託	H28	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	企業1社	
受託研究（競争的資金以外の研究）	県産茶の実油の原料・製造条件の違いによる品質の調査	終了	受託	H28	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	企業1社	
受託研究（競争的資金以外の研究）	高級茶飲料の高濃度化に関する研究	終了	受託	H28	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	企業1社	
受託研究（競争的資金以外の研究）	新規な食感を持つ乾燥こんにやく素材の開発	終了	受託	H28	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	企業1社	
受託研究（競争的資金以外の研究）	アオコ抑制剤の性能向上に関する研究	終了	受託	H28	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	団体1組織	
受託研究（競争的資金以外の研究）	アンモニア化・硝化細菌担体の保管技術の開発	終了	受託	H28	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	企業1社	
受託研究（競争的資金以外の研究）	竹粉の乳酸発酵技術の開発及び発酵食品への応用	終了	受託	H28	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	企業1社	
受託研究（競争的資金以外の研究）	過熱水蒸気炭化炉により作製したバイオマス由来活性炭の性能評価	終了	受託	H28	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	企業1社	

受託研究（競争的資金以外の研究）	バラの香り製品の品質向上と安定化	終了	受託	H28	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	団体1組織
------------------	------------------	----	----	-----	-------------------------	-----------------	-----------------	-------

沼津工業技術支援センター

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び 普及等の状況	備 考
新成長戦略研究 事業	食の都しずおかの微生物を用いた新しい発酵食品ビジネスの創出	継続	共同	H27 ～ H29	微生物産業の持続的発展のため、本県の地域資源から得た有用微生物によりライブラリーを構築するとともに、新規発酵食品を開発する。当センターは本研究の総括や新規酵母を用いた日本酒・ビール開発を行う。	共同研究につき公表を控えません。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社、研究開発課 農林技術研究所 畜産技術研究所 水産技術研究所、環 境衛生科学研究所
新成長戦略研究 事業 チャレンジ研究	乳酸菌の香気成分に關与する酵素遺伝子の探索	終了	単独	H28	食品や化粧品に使われる香料成分は、高価格で取引されており、その低価格化が求められている。本研究では、酵素開発技術を利用して、乳酸菌から香りに關与する新規酵素を効率的に獲得することを旨とする。	乳酸菌のゲノムを解析し、3000以上の遺伝子を特定した。この遺伝子のうち、香気成分に關与する酵素の候補を8種抽出することに成功した。	本研究を利用すれば、これまでの方法では簡単ではなかった有用微生物からの新規酵素の探索が可能となる。微生物から新規酵素を探索することで食品分野、化学工業分野、医薬分野への貢献することができると見込める。	
新成長戦略研究 事業 チャレンジ研究	整形外科用インプラントの切削加工技術の開発	終了	単独	H28	インプラントの加工コスト削減のため、安価な汎用工作機械と汎用切削工具を用いた切削加工方法の確立を目的とし、研究期間中には、被削材と切削工具の接触位置が切削工具の摩耗に及ぼす影響を解明する。	工具の回転中心が被削材と接触するとき工具摩耗が著しく進行することがわかった。工具形状を検討したことで、工具摩耗が1/3程度に低減され、加工コストの削減が期待できる。	本成果は、インプラント製造業に新規参入を検討している又は既に参入している県内企業に技術移転する。	

県単独研究事業	無騒音・無振動アクチュエータの動作性能向上に関する研究	廃止	単独	H28 ～ H28	新成長戦略研究（平成25～27年度）において開発した無騒音・無振動アクチュエータの実用化に向け、アクチュエータの信頼性データの蓄積や熱伝達シミュレーションモデルの構築を行う。	力の定値制御を伴ったアクチュエータの数回の繰り返し動作の評価を行ったところ、20回程度の繰り返し動作で制御系が不安定になった。 原因は、水素吸蔵合金の特性変化であることが明らかとなり、現在の水素吸蔵合金を用いたアクチュエータの開発は不可能であると判断した。	協力機関の(国研)産総研に実験結果をフィードバックし、産総研において合金の劣化メカニズムの解明を目指す。	企業1社
一般共同研究事業	微生物利用土壌改良材の評価に 応用できる微生物群集解析方法の構築	継続	共同	H28 ～ H29	微生物利用土壌改良材を添加した土壌を対象として、遺伝子分離技術による微生物群集解析を行うことで、土壌改良材由来の微生物及びその影響を受ける土壌病原菌の挙動を評価する方法を構築することを目的とする。	共同研究につき公表を控えません。	共同研究につき公表を控えません。	企業1社
一般共同研究事業	金属工作機械の伸縮式カバ ー用いるワイパー 選択条件の標準 化	継続	共同	H28 ～ H29	金属工作機械伸縮式カバ ーに用いるゴムワイパーは 現在経験則で選択している が、科学的根拠に基づいた 選択をするため、現場ニ ズを踏まえて実験条件を設 定したワイパーの摩耗試験 を通じ、選択条件の標準化 を目指す。	共同研究につき公表を控えません。	共同研究につき公表を控えません。	企業1社
受託研究（競争 的資金による研 究） 幹部部基礎技術高 度化支援事業（経 産省）	骨端用プレート の高品質・低コ スト成形加工技 術の開発	継続	共同	H28 ～ H30	骨折治療等整形外科分野 において使用される生体適 合性の高いチタン合金 (Ti-6Al-4V) 製骨端用プ レートの高品質・低コスト 化を図る成型加工技術を開 発する。	共同研究につき公表を控えません。	共同研究につき公表を控えません。	企業1社 (国研)産総研
受託研究（競争 的資金以外の研 究）	ひずみゲージを 用いた線膨張係 数の測定手法の 検討	終了	受託	H28	競争的資金以外の受託研 究につき公表を控えません。	受託研究につき公表を控えません。	受託研究につき公表を控えません。	企業1社



受託研究（競争的資金以外の研究）	酸性食品フルー ツの殺菌理論構 築 - 混入微生 物の把握 -	終了	受託	H28	競争的資金以外の受託研 究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	硝化細菌検査シ ステムの構築 定量手法の開 発	終了	受託	H28	競争的資金以外の受託研 究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えま す。	受託研究につき公表を控えま す。	企業1社

富士工業技術支援センター

区分	研究テーマ (細目)	研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用 及び 普及等の状況	備考
新成長戦略各研究事業		セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化	継続	単独	H28 ～ H30	セルロースナノファイバー(ONF)を製品に応用するために紙に適用することを検討した結果、引継ぎ、蓄積、提供すること、地域企業による研究開発への取り組みを容易にし、ONF利用製品開発の促進を目的とする。	CNFを内添や塗工などの方法で、紙に適用することを検討した結果、引継ぎ、蓄積、提供すること、地域企業に影響力を与えることがわかった。	研究発表会、CNF関連の技術講演会、学会発表などを通して成果を普及する。CNFを利用した製品開発を行った企業との製品作りにも協力する。	工業技術研究所(本所)、商工振興課
県単独研究事業		トイレットペーパーに新聞古紙を利用するための技術開発	終了	単独	H27 ～ H28	新聞古紙は印刷用紙などに比べて流通量が多く、価格が安定している。トイレットペーパーの原料に新聞古紙を利用できるよう長期保存時の変色、やわらかさの低下などの品質低下を防ぐ手段を提案する。	新聞古紙を利用する場合の影響を明らかにした。過酸化水素漂白が、低下した品質の回復に有効であることがわかった。原料古紙に対する、新聞古紙を10%程度利用できることを明らかにした。	静岡県紙工技術研究フォーラム、紙バリエーション協会などを通して成果を普及する。新聞古紙を利用して製造してもらえぬ企業を探し、新聞古紙を利用したトイレットペーパー製品の試作に協力する。	
一般共同研究事業		見守りシステムの応用展開に関する研究	継続	共同	H28 ～ H29	前年度まで行った新成長戦略研究で開発した介護用見守りシステムを基にして、ウシの見守りシステムの開発や見守りシステムの普及・応用に係る研究開発を行う。	共同研究につき公表を控えま	共同研究につき公表を控えます。	企業2社 畜産技術研究所

浜松工業技術支援センター

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用 及び 普及等の状況	備 考
新成長戦略各研 究事業	レーザーによる健 康医療機器用プラ スチックの加工技 術の確立	終了	共同	H26 ～ H28	成長が見込まれる医療用 プラスチック部品のなか で、『視力矯正用眼鏡レン ズの染色』と『透明プラス チックの溶着』などを対象 として、新しいレーザー加 工技術の開発を行う。	共同研究につき公表を控えま す。	共同研究につき公表を控えます。	企業4社、大阪大 学
新成長戦略各研 究事業	ウルトラハイテン 自動車部品加工支 援のための二次元 ひずみ簡易計測方 法の開発	終了	単独	H28	ウルトラハイテンのプレ ス加工における大きな問題 として、割れの発生を予測 の難しさが挙げられる。こ の研究では、ウルトラハイ テンの割れを発生させる二 次元的なひずみ状態の簡易 計測法を開発する。	二次元的ひずみを生じさせる試 作金型とサンプル形状の最適化を 行った。その結果、ウルトラハイ テンを含む鋼板について、専用設 備を必要とせずに、割れが発生す るひずみ状態を測定することがで きた。	プレス関連事業者11社で構成された 「はままつ超ハイテン研究会」の講 演・共同講演等を通じて本手法の改 良及び普及を図る。	緊急対応研究許 新産業集積課
県単独研究事 業	透明体内部の屈折 率分布可視化に関 する研究	継続	単独	H27 ～ H29	新成長戦略研究(24～26 年度)にて、大型樹脂レン ズの屈折率分布を可視化す るために開発した透過光波 面計測システムと、これま でに蓄積した透明体評価技 術を普及させる。	開発したシステムを応用して、 透明樹脂のレーザー溶着における 品質(溶着むら、強度)を非接触 で測定できるシステムを構築し た。	これまでには培った、透明体の欠陥 や密度分布を可視化する測定技術や 光学シミュレーション技術を生かし て、企業2社の製品開発を支援し た。	
県単独研究事 業	材料培平面における 分析精度の高度化 に関する研究	終了	単独	H27 ～ H28	化学成分分析における職 員の分析力・解析力を向上 させるため、分析値の真 実度、繰り返し精度や試料調 製等が分析値に与える影響 を体系的に整理し、分析値 の誤差などにに関する判断指 標を作成することを旨 とす。	波長分散型およびエネルギー分散 型蛍光X線分析装置の分析精度を 把握した。また、切りくず等の微 小な試料や腐食生成物など試料の 状態による化学組成の変化に関す る知見・情報を蓄積した。	技術種別において迅速かつ高精度 な分析が可能となることで、企業で は早急に適切な対応を行うことがで きる。	

一般共同研究 事業	電波識別技術を応用した携帯電話通話検知装置の実用化	継続	共同	H28 ～ H29	「振込詐欺」を防止するために、ATM周辺での携帯電話の通話を検知する技術の開発が望まれている。前年度までに培ってきた「電波識別技術」を応用し、携帯電話の通話状態を高確度で検知できる装置を開発する。	共同研究につき公表を控えま	共同研究につき公表を控えま	企業1社
一般共同研究 事業	難加工材の加工技術およびその評価技術に関する研究	終了	共同	H26 ～ H28	高速度カメラと切削動力計を用いた切削加工の可視化、数値化による評価技術および塑性加工の成形シミュレーションを用いて中小企業の加工技術のレベルアップを支援し、難加工材に対する加工技術の高度化を目指す。	共同研究につき公表を控えま	共同研究につき公表を控えま	企業3社 静岡大学
一般共同研究 事業	電鑄による医療用部品作製技術の開発	終了	共同	H27 ～ H28	次世代マイクロカーテール用不透過マーカを電鑄によりプラチナ等で製作すること。	共同研究につき公表を控えま	共同研究につき公表を控えま	企業1社 芝浦工業大学
一般共同研究 事業	低環境負荷の注染用防染糊の開発	継続	共同	H28 ～ H29	注染で使用する防染糊成分の作用機構を明らかにするとともに、環境負荷物質を含まない安定した価格の代替防染糊を開発する。	共同研究につき公表を控えま	共同研究につき公表を控えま	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 産学官連携研究 開創的事業 （財団）	半溶融成形法による高放熱性ヒートシンクの開発	継続	受託	H26 ～ H29	半溶融成形法は、薄肉・複雑形状鋳物を高品質で製造できるプロセスであり、ヒートシンク製造にこの方法を適用し、良放熱性ヒートシンクの製造技術进行研究する。	受託研究につき公表を控えま	受託研究につき公表を控えま	企業1社 東京工業大学 豊田工業大学 (国研)産総研
受託研究（競争的資金以外の研究）	バイナリー発電システムの高効率に関する研究	終了	受託	H28	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えま	受託研究につき公表を控えま	受託研究につき公表を控えま	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	3元系めっき膜の材料特性評価方法の検討	終了	受託	H28	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えま	受託研究につき公表を控えま	受託研究につき公表を控えま	企業1社

受託研究（競争的資金以外の研究）	センサデバイス表面の解析による品質改善へのアプローチ	終了	受託	H28	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業 1 社
受託研究（競争的資金以外の研究）	多孔質めっき処理技術の開発	終了	受託	H28	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業 1 社
受託研究（競争的資金以外の研究）	超ハイテンの単軸引張試験による材料特性及びプレス成形シミュレーション用パラメータ取得	終了	受託	H28	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業 1 社
受託研究（競争的資金以外の研究）	レーザー処理表面に生成された酸化皮膜の構造解析	終了	受託	H28	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業 1 社
受託研究（競争的資金以外の研究）	開繊方法の異なるCFRTP成形品の機械特性について	終了	受託	H28	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業 1 社
受託研究（競争的資金以外の研究）	超高強度ポリエチレン繊維に機能性を付与するための加工方法の最適化	終了	受託	H28	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業 1 社

**静岡県工業技術研究所**

〒421-1298 静岡市葵区牧ヶ谷2078

TEL 054-278-3028 FAX 054-278-3066

**静岡県工業技術研究所**

**沼津工業技術支援センター**

〒410-0022 沼津市大岡3981-1

TEL 055-925-1100 FAX 055-925-1108

**静岡県工業技術研究所**

**富士工業技術支援センター**

〒417-8550 富士市大淵2590-1

TEL 0545-35-5190 FAX 0545-35-5195

**静岡県工業技術研究所**

**浜松工業技術支援センター**

〒431-2103 浜松市北区新都田1-3-3

TEL 053-428-4151 FAX 053-428-4160

平成28年度 年報  
静岡県工業技術研究所

平成29年12月発行 (2017)

編集・発行

静岡県工業技術研究所

企画調整部

〒421-1298 静岡市葵区牧ヶ谷2078

TEL 054-278-3028

FAX 054-278-3066